

令和 7 年版

# 消 防 年 報



京田辺市消防本部



## は じ め に

この消防年報は、京田辺市の消防現勢及び令和6年（度）消防業務に関する諸般の事業を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

この年報が、消防関係はもとより、広く関係各位に利用され、消防行政推進のための参考資料となれば幸いに存じます。

令和7年9月

京田辺市消防本部

# 目 次

京田辺市消防本部管轄区域の沿革及び地勢	1
沿 革	1
地 勢	1
管 内 図	2
消 防 庁 舎 の 状 況	3
消 防 本 部 の 沿 革	4
京田辺市消防本部・署の組織図	9
消 防 本 部 の 事 務 分 掌	10
消 防 署 の 事 務 分 掌	11

## 総 務

消 防 費 歳 出 予 算	13
消 防 職 員 の 現 状	15
1. 職員配置状況	15
2. 階級別年齢状況	16
3. 階級別勤続年数状況	16
4. 研 修 状 況	17

## 予 防

事 業 所 の 防 火	18
1. 防火対象物一覧表	18
2. 防火対象物の階数別内訳等の状況	19
3. 防火管理の状況	20
4. 防火対象物査察実施状況	21
5. 消防用設備等設置状況	22
危 険 物 施 設 の 状 況	23

1. 製造所等施設数	23
2. 製造所等施設数及び査察状況	24
3. 危険物規制事務処理状況	24
4. 地区別施設数	25
5. 少量危険物貯蔵取扱状況	25
建 築 確 認 申 請 消 防 同 意 の 状 況	26
1. 地区別・用途別消防同意件数	26
2. 年度別・工事別消防同意件数	26
予 防 関 係 等 届 出 状 況	27
防 火 指 導 状 況	28
広 報 活 動 状 況	28

## 警 防

消 防 車 両 配 置 状 況	29
1. 消防車両	29
2. 消防用機器の保有状況	30
3. 通信施設	32
消 防 水 利 状 況	33
1. 防火水槽	33
2. 消火栓	33
3. その他	33
火 災 の 状 況	34
1. 火災の概要	34
2. 覚知方法別火災件数	35
3. 地区別火災等発生状況	35
4. 曜日別火災等発生件数	36
5. 月別火災等発生件数	37
6. 出火原因別火災発生状況	38
7. 地区別消防事故発生状況	38

8. 過去10年間の火災推移状況	39
9. 過去5年間の出火原因推移状況	39
救急活動の状況	40
1. 救急の概況	40
2. 事故種別救急出場の状況	41
3. 月別救急出場の状況	41
4. 曜日別救急出場の状況	42
5. 年齢別搬送人員の状況	43
6. 医療機関所在地別搬送人員の状況	44
7. 救急指導状況	44
8. 過去5年間救急出場件数推移状況	45
救助活動の状況	46
1. 救助の概要	46
2. 過去5年間の救助出場件数	46
気象情報等受信状況	47

## 消 防 団

消防団の沿革	48
消防団の組織	51
消防団員の状況	52
1. 分団別団員数	52
2. 年齢別状況	53
3. 勤続年数状況	53
4. 職業別状況	54
5. 出動状況	54
消防団車両等配置状況	55
1. 積載車	55
2. 小型動力ポンプ	56

# 京田辺市消防本部管轄区域の沿革及び地勢

## 沿 革

### (京田辺市)

明治22年の市町村制施行で、大住村、田辺村、草内村、三山木村、普賢寺村の五つの村が誕生。その中で田辺村がいち早く明治39年に町制を施行し田辺町に、その後、昭和26年に隣接する大住村、草内村、三山木村、普賢寺村を編入・統合して田辺町となり、平成9年に現在の京田辺市に至っています。

南山城地方の行政、経済、文化、交通の中心として、また、学研都市構想の建設に伴い発展を続けています。

### (井手町)

奈良時代には時の左大臣橘諸兄が井手寺を建設したほか、平城京の大寺院大安寺の瓦を生産していたなど、文化・産業ともに盛んな地域であった。

明治期、旧井手・多賀の二村が独立、昭和三三年に二町村の合併により新井手町が誕生し、今日に至っている。

### (宇治田原町)

昭和31年9月30日、宇治田原村と田原村が合併して誕生しました。

京都府に編入されたのは、明治4年7月廃藩置県によってですが、それ以前は禁裏所領、幕府の直轄地として栄えていました。

風光の美しさはこの時代からのものが礎となっています。

宇治茶発祥の地としての伝統と、お茶と林業を中心とする産業、並びに工業団地の開発による共生を図り発展を続けています。

## 地 勢

### (京田辺市)

大阪府、奈良県と境を接する京田辺市。市の東を木津川が悠々と流れ、西には生駒山系に連なるなだらかな丘陵地が控えています。

京都市と奈良市のほぼ中間にあたり、古代からの交通の要衝です。

緑豊かな田園地帯に歴史を物語る多くの文化遺産が点在しています。

### (井手町)

京都市、奈良市の中間に位置し、かつては物流の中継地として、また、大和街道の宿場町として栄えてきました。

国道24号線が町の西側を南北に縦貫しており、さらに並行して悠々たる木津川が流れ、東方向に鮮やかな緑に包まれた山並が続き都市近郊の自然と歴史の魅力にあふれています。

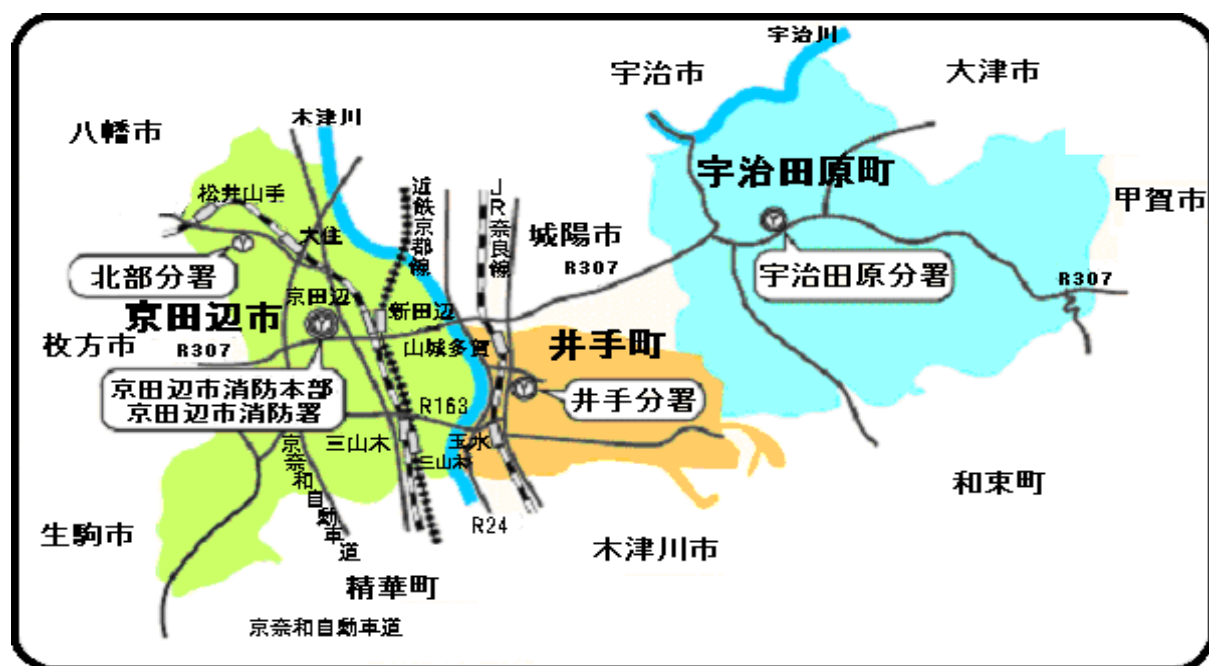
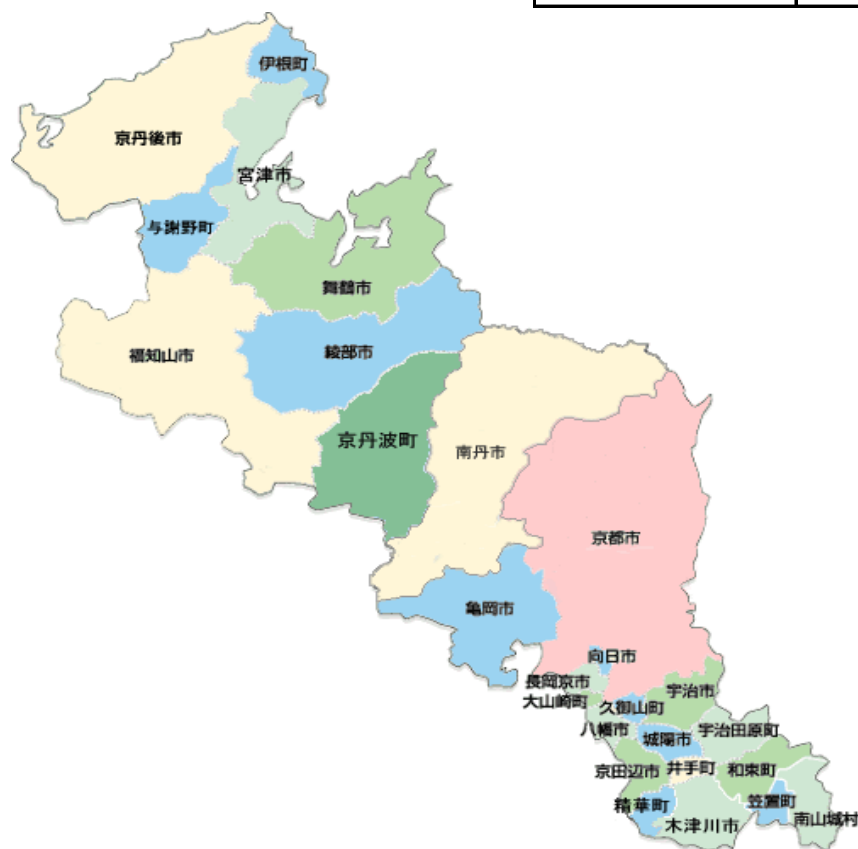
### (宇治田原町)

京都の東南部、滋賀県に接する宇治田原町は、山に囲まれた風光明媚な町です。

主要幹線である国道307号線が中央部を東西に縦貫しており、町域のおよそ8割を森林が占め、そこにいくつもの茶園が加わって町全体が緑一色に包まれています。

(令和7年4月1日現在)

区 分	人 口	面 積
京 田 辺 市	72,003人	42.92 km <sup>2</sup>
井 手 町	6,957人	18.04 km <sup>2</sup>
宇 治 田 原 町	8,688人	58.16 km <sup>2</sup>
合 計	87,648人	119.12 km <sup>2</sup>





## 消防庁舎の状況

### 京田辺市消防本部・京田辺市消防署



建築年月日	昭和54年12月1日
構造	鉄筋コンクリート造 2階建
敷地面積	3,712.10㎡
延べ面積	1,208.58㎡
平成7年11月	通信指令室一部増改築
延べ面積	221.92㎡
所在地	京都府京田辺市田辺78番地
電話	0774-63-1125
	0774-63-7825 (消防総務課 ダイヤルイン)
	0774-63-7826 (予防課 ダイヤルイン)
F A X	0774-65-1511

### 京田辺市消防署北部分署



建築年月日	平成5年12月1日
構造	鉄筋コンクリート造 2階建
敷地面積	629.66㎡
延べ面積	492.50㎡
所在地	京都府京田辺市花住坂2丁目20番地2
電話	0774-65-0119
F A X	0774-65-0881

### 京田辺市消防署井手分署



建築年月日	平成4年12月1日
構造	鉄筋コンクリート造 3階建
敷地面積	702.76㎡
延べ面積	708.92㎡
所在地	京都府綴喜郡井手町 大字井手小字尾ノ山34番地の1
電話	0774-82-3000
F A X	0774-82-4000

### 京田辺市消防署宇治田原分署



建築年月日	平成4年12月1日
構造	鉄筋コンクリート造 2階建
敷地面積	1,867.71㎡
延べ面積	509.38㎡
所在地	京都府綴喜郡宇治田原町 大字立川小字平岡49番地の1
電話	0774-88-5500
F A X	0774-88-5555

## 消防本部の沿革

- 昭和 45年 12月 田辺町消防本部発足  
消防長事務取扱に西岡春二郎就任  
職員 13人  
消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、指令車1台
- 昭和 46年 4月 初代消防長に高屋勝次就任  
職員 15人（2人増員）
- 昭和 46年 6月 職員 17人（2人増員）  
赤バイ 2台を購入し配置
- 昭和 46年 11月 井手町と救急応援協定締結
- 昭和 46年 12月 職員 18人（1人増員）
- 昭和 47年 4月 田辺町消防署設置  
職員 23人（5人増員）  
消防ポンプ自動車2台、救急自動車1台、指令車1台
- 昭和 47年 6月 職員 22人。（1人減）併任を解除
- 昭和 47年 10月 職員 24人。（2人増員）
- 昭和 48年 2月 水槽付簡易化学車を購入し配置
- 昭和 48年 3月 職員 28人（4人増員）
- 昭和 48年 6月 資器材搬送車1台、救急自動車1台（増強分）を購入し配置
- 昭和 48年 7月 消防仮設車庫を配置
- 昭和 48年 11月 指令車1台を購入し配置（以前の指令車は広報車に変更）
- 昭和 50年 4月 職員 31人（3人増員）
- 昭和 50年 11月 消防仮設車庫を増設
- 昭和 50年 12月 屈折梯子付消防ポンプ自動車1台を購入し配置
- 昭和 51年 4月 職員 33人（2人増員）
- 昭和 51年 5月 救急自動車1台を日本損害保険協会から寄贈を受けて配置
- 昭和 51年 12月 消防ポンプ自動車1台を購入し配置  
消防専用超高压ポンプ1台を購入し消防ポンプ自動車に積載配置
- 昭和 52年 4月 2代目消防長に川岸 弘就任
- 昭和 53年 4月 生駒市と消防相互応援協定締結  
職員 36人（3人増員）
- 昭和 53年 5月 枚方市、枚方寝屋川消防組合と消防相互応援協定締結
- 昭和 53年 10月 広報車1台を購入し配置
- 昭和 54年 3月 消防救急指令装置（C型）を設置
- 昭和 54年 8月 精華町と消防相互応援協定締結
- 昭和 54年 12月 消防庁舎新築、移転  
（敷地面積 3,712㎡、鉄筋コンクリート造2階建、  
延べ面積 1,208㎡、訓練塔2基）
- 昭和 55年 7月 田辺町水防協議会の制定
- 昭和 56年 3月 消防本部消防庁長官表彰受賞
- 昭和 56年 7月 総務課（3係）、警防課（4係）に組織改正  
職員 39人（3人増員）

## 消防本部の沿革

- 昭和 45年 12月 田辺町消防本部発足  
消防長事務取扱に西岡春二郎就任  
職員 13人  
消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、指令車1台
- 昭和 46年 4月 初代消防長に高屋勝次就任  
職員 15人（2人増員）
- 昭和 46年 6月 職員 17人（2人増員）  
赤バイ2台を購入し配置
- 昭和 46年 11月 井手町と救急応援協定締結
- 昭和 46年 12月 職員 18人（1人増員）
- 昭和 47年 4月 田辺町消防署設置  
職員 23人（5人増員）  
消防ポンプ自動車2台、救急自動車1台、指令車1台
- 昭和 47年 6月 職員 22人。（1人減）併任を解除
- 昭和 47年 10月 職員 24人。（2人増員）
- 昭和 48年 2月 水槽付簡易化学車を購入し配置
- 昭和 48年 3月 職員 28人（4人増員）
- 昭和 48年 6月 資器材搬送車1台、救急自動車1台（増強分）を購入し配置
- 昭和 48年 7月 消防仮設車庫を配置
- 昭和 48年 11月 指令車1台を購入し配置（以前の指令車は広報車に変更）
- 昭和 50年 4月 職員 31人（3人増員）
- 昭和 50年 11月 消防仮設車庫を増設
- 昭和 50年 12月 屈折梯子付消防ポンプ自動車1台を購入し配置
- 昭和 51年 4月 職員 33人（2人増員）
- 昭和 51年 5月 救急自動車1台を日本損害保険協会から寄贈を受けて配置
- 昭和 51年 12月 消防ポンプ自動車1台を購入し配置  
消防専用超高压ポンプ1台を購入し消防ポンプ自動車に積載配置
- 昭和 52年 4月 2代目消防長に川岸 弘就任
- 昭和 53年 4月 生駒市と消防相互応援協定締結  
職員 36人（3人増員）
- 昭和 53年 5月 枚方市、枚方寝屋川消防組合と消防相互応援協定締結
- 昭和 53年 10月 広報車1台を購入し配置
- 昭和 54年 3月 消防救急指令装置（C型）を設置
- 昭和 54年 8月 精華町と消防相互応援協定締結
- 昭和 54年 12月 消防庁舎新築、移転  
（敷地面積3,712㎡、鉄筋コンクリート造2階建、  
延べ面積1,208㎡、訓練塔2基）
- 昭和 55年 7月 田辺町水防協議会の制定
- 昭和 56年 3月 消防本部消防庁長官表彰受賞
- 昭和 56年 7月 総務課（3係）、警防課（4係）に組織改正  
職員 39人（3人増員）

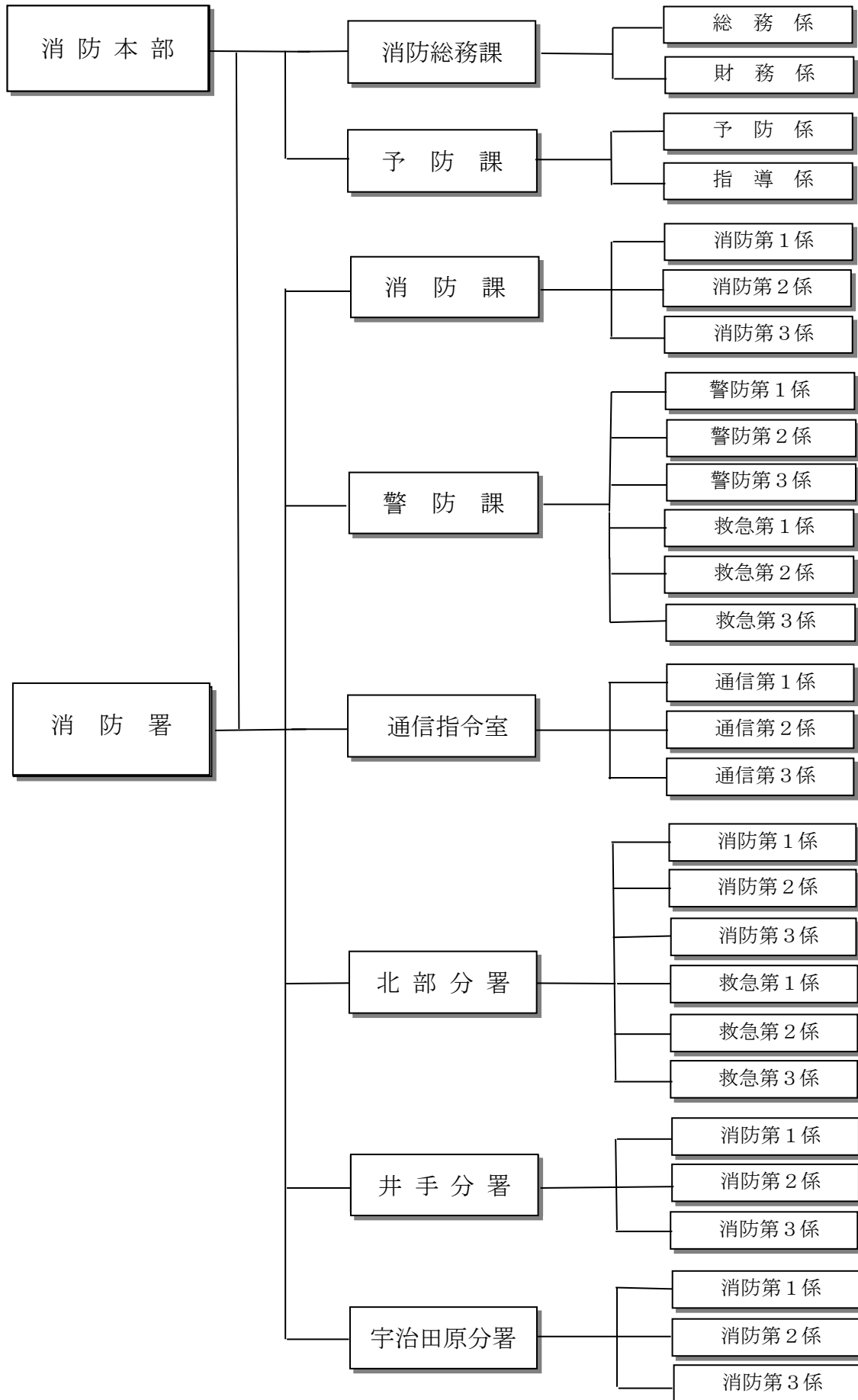
昭和 57年 1月 救急自動車 1 台を購入し配置  
 昭和 57年 6月 査察車 1 台、資器材搬送車 1 台を購入し配置  
 昭和 57年 7月 赤バイ 2 台を購入し配置  
 昭和 57年 12月 連絡車 1 台を購入し配置  
 昭和 58年 4月 職員 4 2 人（3 人増員）  
 昭和 59年 12月 防災指導車 1 台を購入し配置  
 昭和 60年 3月 指令車（更新分） 1 台を購入し配置  
 昭和 60年 4月 職員 4 6 人（4 人増員）  
 昭和 60年 5月 消防本部（2 課 4 係）、消防署（2 課 2 係）に組織改正  
 昭和 60年 11月 消防本部発足 1 5 周年記念式典を実施  
 昭和 60年 12月 3 代目消防長に増田陽三就任  
 昭和 61年 4月 消防ポンプ自動車 1 台を日本損害保険協会から寄贈を受けて配置  
 昭和 61年 10月 消防本部（2 課 4 係）、消防署（2 課 4 係）に組織改正  
 昭和 61年 11月 化学消防ポンプ自動車（増強分） 1 台を購入し配置  
 昭和 62年 4月 職員 5 0 人（4 人増員）  
 昭和 62年 12月 救急自動車（更新分） 1 台を購入し配置  
 平成 元年 3月 職員 4 9 人（1 人減員）  
 平成 元年 4月 職員 4 8 人（1 人減員）  
 平成 元年 11月 現場指揮車 1 台を枚方カントリークラブから寄贈を受けて配置  
 平成 2年 3月 消防ポンプ自動車（更新分） 1 台を購入し配置  
 平成 2年 4月 職員 5 0 人（2 人増員）  
 平成 2年 9月 防火広報車 1 台を配置  
 平成 3年 7月 査察車（更新分） 1 台を購入し配置  
 平成 3年 10月 救急自動車（更新分） 1 台を購入し配置  
 職員 4 9 人（1 人減員）  
 平成 3年 11月 消防本部発足 2 0 周年記念式典を実施  
 平成 4年 3月 田辺町、井手町、宇治田原町消防事務委託調印締結  
 平成 4年 4月 職員 7 9 人（3 0 人増員）  
 平成 4年 6月 連絡車（更新分） 1 台を購入し配置  
 平成 4年 8月 職員 7 7 人（2 人減員）  
 平成 4年 11月 消防梯子車（3 0 m級）（増強分） 1 台を購入し配置  
 屈折梯子付消防ポンプ車を廃車  
 平成 4年 12月 井手町・宇治田原町に消防分署開設、消防業務を開始し、各分署に消防ポンプ自動車 1 台、救急自動車 1 台、指揮広報車 1 台を購入し配置  
 平成 5年 4月 4 代目消防長に佐藤 實就任  
 職員 8 5 人（8 人増員）  
 平成 5年 5月 職員 8 4 人（1 人減員）  
 平成 5年 11月 消防ポンプ自動車（更新分） 1 台を配置  
 平成 5年 12月 田辺町消防署北部出張所開設、消防業務を開始し、消防ポンプ自動車 1 台、救急自動車 1 台、連絡車 1 台を配置  
 平成 6年 4月 職員 9 6 人（1 2 人増員）  
 平成 6年 7月 資機材搬送車（更新分） 1 台を購入し配置  
 平成 6年 12月 中規格救急自動車（更新分） 1 台を購入し配置

平成 7年 12月 指令車（更新分） 1 台を購入し配置  
 平成 8年 1月 防災指導車（更新分） 1 台を購入し配置  
 平成 8年 3月 消防庁舎増築（通信指令室等）竣工及び消防緊急通信指令システム導入  
 平成 8年 4月 消防緊急通信指令システム運用開始  
 平成 8年 4月 消防本部発足 25 周年記念式典を実施  
 平成 8年 12月 高規格救急自動車（更新分） 1 台を購入し配置  
           職員 95 人（1 人減員）  
 平成 9年 3月 田辺町閉町式  
 平成 9年 4月 京田辺市開市式  
           5 代目消防長に上村義忠就任  
           消防本部（2 課 6 係）、消防署（2 課 6 係・1 室 2 係・2 分署各 2 係・  
           1 出張所 2 係）に組織改正  
           職員 100 人（5 人増員）  
 平成 10年 2月 救助工作車（増強分） 1 台を購入し配置  
 平成 10年 11月 宇治田原分署指揮広報車（更新分） 1 台を購入し配置  
 平成 11年 3月 消防ポンプ自動車 C D - I（更新分） 1 台を購入し配置  
 平成 11年 10月 消防庁舎の改修改善  
 平成 12年 3月 化学消防ポンプ自動車（更新分） 1 台を購入し配置  
           職員 99 人（1 人減員）  
 平成 12年 9月 北部出張所高規格救急自動車（更新分） 1 台を購入し配置  
 平成 13年 3月 指揮広報車 1 台を購入し配置  
           消防本部発足 30 周年記念式典を実施  
 平成 13年 9月 査察車（更新分） 1 台を購入し配置  
           井手分署指揮広報車（更新分） 1 台を購入し配置  
 平成 14年 4月 職員 105 人（6 人増員）  
 平成 14年 10月 広報車（更新分） 1 台を購入し配置  
           職員 104 人（1 人減員）  
           井手分署、宇治田原分署に高規格救急車（更新分）各 1 台を購入し配置  
 平成 15年 3月 職員 103 人（1 人減員）  
 平成 15年 4月 6 代目消防長に松中 進就任  
           職員 108 人（5 人増員）  
 平成 16年 2月 消防ポンプ自動車 C D - I（更新分） 1 台を購入し配置  
           高規格救急自動車（更新分） 1 台を購入し配置  
 平成 16年 4月 職員 110 人（2 人増員）  
           機構改革により北部出張所を北部分署に改称  
 平成 16年 11月 井手分署に消防ポンプ自動車 C D - I（更新分） 1 台を購入し配置  
 平成 16年 12月 高規格救急自動車（更新分） 1 台を購入し配置  
 平成 17年 4月 職員 106 人（4 人減員）  
 平成 18年 3月 宇治田原分署に消防ポンプ自動車 C D - I（更新分） 1 台を購入し配置  
           消防本部発足 35 周年記念式典を実施  
 平成 18年 4月 消防本部（2 課 4 係）、消防署（3 課 6 係・1 室 3 係・3 分署 12 係）  
           に組織改正  
           職員 104 人（2 人減員）

平成 19年	3月	北部分署に消防ポンプ自動車CD-I（更新分）1台を購入し配置
平成 19年	4月	7代目消防長に藤本憲三就任 職員103人（1人減員）
平成 20年	3月	活動支援車（更新分）1台を購入し配置
平成 20年	4月	職員102人（1人減員）
平成 21年	4月	職員103人（1人増員）
平成 21年	10月	携帯電話、IP電話からの119番緊急通報に係る位置情報システムを導入
平成 22年	2月	資材搬送車（更新分）1台を購入し配置
平成 22年	3月	北部分署に高規格救急車（更新分）1台を購入し配置 救助工作車（更新分）1台を購入し配置
平成 22年	4月	8代目消防長に久保田義隆就任 職員104人（1人増員）
平成 22年	12月	指令車（更新分）1台を購入し配置
平成 23年	3月	南部水防倉庫設置
平成 23年	4月	職員103人（1人減員）
平成 23年	11月	消防本部発足40周年記念式典を実施
平成 23年	12月	予防指導車（更新分）1台を購入し配置
平成 24年	3月	高規格救急自動車（更新分）1台を購入し配置
平成 24年	4月	職員106人（3人増員）
平成 25年	3月	高規格救急自動車（更新分）1台を購入し配置
平成 25年	4月	消防署（2課9係・1室3係・3分署12係）組織改革 職員107人（1人増員）
平成 25年	10月	はしご付消防ポンプ自動車（更新分）1台を購入し配置
平成 26年	3月	消防救急デジタル無線運用開始 宇治田原分署に高規格救急自動車（更新分）1台を購入し配置
平成 26年	4月	9代目消防長に上村信男就任 職員104人（3人減員）
	12月	井手分署に高規格救急自動車（更新分）1台を購入し配置
平成 27年	3月	化学消防ポンプ自動車（更新分）1台を購入し配置
平成 27年	4月	10代目消防長に北川秀樹就任 職員101人（3人減員）
平成 28年	2月	消防ポンプ自動車CD-I（更新分）1台を購入し配置
平成 28年	4月	職員103人（2人増員）
平成 28年	12月	指揮隊車（更新分）1台を購入し配置
平成 29年	4月	職員101人（2人減員）
平成 30年	1月	北部分署に高規格救急自動車（更新分）1台を購入し配置
平成 30年	3月	宇治田原分署に指揮支援車（更新分）1台を購入し配置
平成 30年	4月	11代目消防長に井辻正治就任 職員104人（3人増員） 高機能消防指令システム（更新分）を導入し運用開始
平成 31年	3月	北部分署に消防ポンプ自動車CD-I（更新分）1台を購入し配置 井手分署に指揮支援車（更新分）1台を購入し配置

平成	31年	4月	職員 1 0 5 人（1 人増員）
令和	元年	8月	査察車（更新分） 1 台を購入し配置
令和	2年	4月	12代目消防長に大富育寅就任 職員 1 0 4 人（1 人減員）
令和	3年	3月	消防ポンプ自動車C D－ I （更新分） 1 台を購入し配置
令和	3年	3月	高規格救急自動車（更新分） 1 台を購入し配置
令和	3年	4月	職員 1 0 6 人（2 人増員）
令和	4年	4月	13代目消防長に林 朋也就任 職員 1 1 0 人（4 人増員）
令和	5年	3月	北部分署に指揮支援車（更新分） 1 台を購入し配置 井手分署に消防ポンプ自動車C D－ I （更新分） 1 台を購入し配置 宇治田原分署に消防ポンプ自動車C D－ I （更新分） 1 台を購入し配置 高機能消防指令システムの部分更新を実施
		4月	職員 1 1 1 人（1 人増員）
令和	6年	3月	宇治田原分署に高規格救急自動車（更新分） 1 台を購入し配置
	6年	4月	14代目消防長に堀口博司就任 職員 1 1 5 人（4 人増員）
令和	7年	2月	救助工作車Ⅱ型（更新分） 1 台を購入し配置
		4月	職員 1 1 7 人（2 人増員）

# 京田辺市消防本部・署の組織図





# 消防本部の事務分掌

## 消防総務課

### 総務係

- 1 職員の人事及び福利厚生に関すること。
- 2 公印の管理、文書の収受、発送及び整理等に関すること。
- 3 一般庶務及び消防団の庶務に関すること。
- 4 消防関係者会議に関すること。
- 5 消防職員及び消防団員等の公務災害補償に関すること。
- 6 消防事務委託に関すること。
- 7 消防相互応援協定に関すること。
- 8 消防職員委員会の事務に関すること。
- 9 公文書及び個人情報の開示の請求受付等に関すること。
- 10 条例、規則等の審査及び制定改廃手続に関すること。
- 11 消防職員及び消防団員の教養、訓練指導等に関すること。
- 12 消防本部及び消防団の儀式に関すること。
- 13 消防表彰に関すること。
- 14 その他特異な事項の調査及び研究に関すること。
- 15 他の課及び係に属さない事項

### 財務係

- 1 消防本部に属する財産の管理に関すること。
- 2 予算編成及び執行管理等の経理に関すること。
- 3 消防職員の給与及び消防団員の報酬並びに費用弁償に関すること。
- 4 消防補助金の申請及び報告に関すること。
- 5 物品購入、修繕及び出納保管に関すること。
- 6 消防庁舎及び物品の保全に関すること。
- 7 消防団施設の整備計画及び保全に関すること。
- 8 消防団の車両、機械器具等の整備計画及び保全に関すること。
- 9 消防団の物品購入及び消防団員被服等の貸与品に関すること。

## 予 防 課

### 予防係

- 1 火災予防対策に関すること。
- 2 消防広報及び公聴に関すること。
- 3 住宅防火対策及び指導に関すること。
- 4 防火対象物等の予防査察及び防火指導に関すること。
- 5 防火対象物等における違反処理に関すること。
- 6 防火管理者の講習及び指導に関すること。
- 7 消防関係団体の育成指導に関すること。

### 指導係

- 1 消防用設備等の検査及び指導に関すること。
- 2 危険物の規制に関すること。
- 3 建築同意事務に関すること。
- 4 火気設備、指定可燃物、高圧ガス等の指導に関すること。
- 5 各種届出（署関係を除く。）の受理及び指導に関すること。
- 6 宅地開発等における消防水利施設等の指導に関すること。

# 消防署の事務分掌

## 消 防 課

### 消防第1係、消防第2係及び消防第3係共通

- 1 消防署の庶務に関すること。
- 2 住宅防火対策及び指導に関すること。
- 3 署外勤務に関すること。
- 4 防火対象物等の予防査察及び防火指導に関すること。
- 5 防火対象物等における違反処理に関すること。
- 6 消防広報及び公聴に関すること。
- 7 各種届出の受理及び指導に関すること。
- 8 消火栓用器具庫等の整備に関すること。
- 9 他の課に属さない事項

## 警 防 課

### 警防第1係、警防第2係及び警防第3係共通

- 1 災害の警戒、防御及び救助に関すること。
- 2 消防機械器具の整備の保全に関すること。
- 3 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- 4 消防水利に関すること。
- 5 警防訓練及び訓練指導に関すること。
- 6 緊急消防援助隊及び消防相互応援協定に係る活動整備に関すること。
- 7 水防対策及びその事務に関すること。

### 救急第1係、救急第2係及び救急第3係共通

- 1 救急活動に関すること。
- 2 救急機械器具等の整備保全に関すること。
- 3 救急隊員の教養訓練に関すること。
- 4 応急手当の普及啓発活動に関すること。
- 5 消防署の統計事務に関すること。
- 6 市民の救急相談及び指導に関すること。
- 7 救急高度化の推進に関すること。

## 通信指令室

### 通信第1係、通信第2係及び通信第3係共通

- 1 災害通報の受付及び出動指令に関すること。
- 2 通信指令システム等の運用及び整備保全に関すること。
- 3 災害情報の収集及び関係機関への連絡に関すること。
- 4 気象観測及び気象、地震情報等の受信連絡に関すること。
- 5 職員の非常招集に関すること。
- 6 消防隊等への支援情報の収集整備に関すること。
- 7 消防通信に係る報告等に関すること。
- 8 各種届出の受理及び指導に関すること。

## 北部分署

### 消防第1係、消防第2係及び消防第3係共通

- 1 防火対象物等の予防査察及び防火指導に関すること。
- 2 防火対象物等における違反処理に関すること。
- 3 消防広報及び広聴に関すること。
- 4 住宅防火対策及び指導に関すること。
- 5 各種届出の受理及び指導に関すること。

- 6 災害の警戒、防御及び救助に関すること。
- 7 消防機械器具の整備保全に関すること。
- 8 火災原因及び損害の調査に関すること。
- 9 消防地水利に関すること。
- 10 消火栓用器具庫等の整備に関すること。
- 11 警防訓練に関すること。
- 12 他の係に属さない事項

#### 救急第1係、救急第2係及び救急第3係共通

- 1 分署の庶務に関すること。
- 2 救急活動に関すること。
- 3 救急機械器具等の整備保全に関すること。
- 4 救急隊員の教養訓練に関すること。
- 5 応急手当の普及啓発活動に関すること。
- 6 市民の救急相談及び指導に関すること。

井手分署・宇治田原分署（両分署共通）
--------------------

- 1 分署の庶務に関すること。
- 2 災害の警戒、防御及び救助に関すること。
- 3 救急活動に関すること。
- 4 火災原因及び損害の調査に関すること。
- 5 消防地水利に関すること。
- 6 消防機械器具の整備保全に関すること。
- 7 警防訓練に関すること。
- 8 応急手当の普及啓発活動に関すること。
- 9 各種届出の受理及び指導に関すること。
- 10 住宅防火対策及び指導に関すること。
- 11 防火対象物等の予防査察及び防火指導に関すること。
- 12 消防広報、広聴に関すること。
- 13 防火対象物等における違反処理に関すること。
- 14 消防相談に関すること。
- 15 その他分署長が必要と認めた事項に関すること。

# 総務



キョウタナベツリー



# 消防費歳出予算（当初額）

（単位：千円）

款項目	節	令和7年度	令和6年度	対前年増減額
消防費		2,445,828	2,192,013	253,815
消防費		2,445,828	2,192,013	253,815
常備消防費		1,257,708	1,177,652	80,056
	報酬料	2,013	0	2,013
	給料	472,934	457,155	15,779
	職員手当	463,024	446,418	16,606
	共済費	183,226	180,171	3,055
	報償費	153	130	23
	旅費	398	177	221
	交際費	50	50	0
	需用費	22,582	24,018	△ 1,436
	役務費	48,316	4,779	43,537
	委託料	4,093	3,888	205
	使用料及び賃借料	5,632	6,054	△ 422
	原材料費	40	40	0
	備品購入費	2,490	5,654	△ 3,164
	負担金補助及び交付金	52,423	48,584	3,839
	公課費	334	534	△ 200
消防分署費		26,460	26,956	△ 496
	報償費	44	44	0
	旅費	116	125	△ 9
	需用費	14,646	14,493	153
	役務費	2,656	2,077	579
	委託料	1,869	1,867	2
	使用料及び賃借料	3,100	3,843	△ 743
	原材料費	35	35	0
	備品購入費	2,550	3,268	△ 718
	負担金補助及び交付金	1,345	1,099	246
	公課費	99	105	△ 6
非常備消防費		40,000	40,995	△ 995
	報酬料	17,177	17,258	△ 81
	災害補償費	899	899	0
	報償費	8,530	8,530	0
	旅費	10	10	0
	交際費	50	50	0
	需用費	4,981	5,644	△ 663
	役務費	607	567	40
	使用料及び賃借料	99	176	-77
	備品購入費	676	903	△ 227
	負担金補助及び交付金	6,872	6,872	0
	公課費	99	86	13

款項目	節	令和7年度	令和6年度	対前年増減額
消防施設費		377,594	396,246	△ 18,652
	需用費	730	1,950	△ 1,220
	役務費	5,242	5,120	122
	委託料	33,512	35,899	△ 2,387
	使用料及び賃借料	225	225	0
	工事請負費	0	20,000	△ 20,000
	備品購入費	66,042	250,125	△ 184,083
	負担金補助及び交付金	269,407	80,447	188,960
	補償補填及び賠償金	2,389	2,366	23
	公課費	47	114	△ 67
水防費		741	902	△ 161
	報酬	350	350	0
	需用費	218	218	0
	原材料費	173	334	△ 161
災害対策費		743,325	549,262	194,063
	報酬	150	237	△ 87
	報償費	50	100	△ 50
	旅費	170	290	△ 120
	需用費	9,292	14,786	△ 5,494
	役務費	4,294	4,281	13
	委託料	299,410	67,685	231,725
	使用料及び賃借料	6,215	6,698	△ 483
	公有財産購入費	0	0	0
	工事請負費	390,300	447,600	△ 57,300
	備品購入費	11,379	4,480	6,899
	負担金補助及び交付金	22,065	3,105	18,960

# 消 防 職 員 の 現 状

## 1. 職員配置状況

(令和7年4月1日現在)

階級別 所属別		合 計	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 職 員
合 計		116(9)	1	8	15(9)	42	14	14	21	1
消 防 本 部	小 計	22	1	3		5	5		7	1
	消 防 長	1	1							
	次 長	1		1						
	消防総務課									
	課 長	1		1						
	総 務 係	8				1			7	
	財 務 係	4				2	1			1
	予 防 課									
消 防 課	課 長	1		1						
	予 防 係	3				1	2			
	指 導 係	3				1	2			
	小 計	94(9)		5	15(9)	37	9	14	14	
	署 長	1		1						
	課 長	1		1						
	課長補佐	3			3					
	消防第1係	1(1)			(1)			1		
警 防 課	消防第2係	1(1)			(1)			1		
	消防第3係	1(1)			(1)			1		
	課 長	1		1						
	課長補佐	4			4					
	担当係長	1				1				
	警防第1係	4				1	1	1	1	
	警防第2係	4				1	1	1	1	
	警防第3係	4				1	1	2		
通 信 指 令 室	救急第1係	3				1	1		1	
	救急第2係	3				2	1			
	救急第3係	2(1)			(1)	1			1	
	室 長	1			1					
	室長補佐	1			1					
	通信第1係	1(1)			(1)		1			
	通信第2係	2				1		1		
	通信第3係	2				1	1			
北 部 分 署	分署長	1			1					
	統括主幹	1			1					
	分署長補佐	(1)			(1)					
	消防第1係	4				3			1	
	消防第2係	4				3			1	
	消防第3係	4				3			1	
	救急第1係	3				2			1	
	救急第2係	3				1		1	1	
井 手 分 署	救急第3係	3				2			1	
	分署長	1		1						
	統括主幹	1			1					
	分署長補佐	1(1)			1(1)					
	消防第1係	3(1)			(1)	2			1	
	消防第2係	4				2		1	1	
	消防第3係	4				1	1	1	1	
宇 治 田 原 分 署	分署長	1		1						
	分署長補佐	2			2					
	予防担当	1				1				
	消防第1係	4(1)			(1)	2		1	1	
	消防第2係	4				2	1	1		
	消防第3係	4				3		1		

( ) 兼務



## ２．階級別年齢状況

(令和7年4月1日現在)

階級 区分	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員	合 計
18歳以上25歳未満							19		19
25歳以上30歳未満						10	2		12
30歳以上35歳未満					3	4			7
35歳以上40歳未満					10				10
40歳以上45歳未満				3	1				4
45歳以上50歳未満				14					14
50歳以上55歳未満		2	10	20				1	33
55歳以上60歳未満	1	6	5	2					14
60歳以上				3					3
合 計	1	8	15	42	14	14	21	1	116
平均年齢									41.77

## ３．階級別勤続年数状況

(令和7年4月1日現在)

階級 区分	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員	合 計
5年未満						2	21	1	24
10年未満						11			11
15年未満					10	1			11
20年未満				3	4				7
25年未満				10					10
30年未満		1		4					5
35年未満		7	11	23					41
35年以上	1	0	4	2					7
合 計	1	8	15	42	14	14	21	1	116
平均勤続年数									20.56

#### 4. 研修状況

(令和7年4月1日現在)

年度 学校別及び科目		合 計	令和元年 以前	令 和	令 和	令 和	令 和	令 和
				2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
合 計		749	696	7	14	19	13	
消防 大学 校	上級幹部科	1	1					
	幹部研修科	6	6					
	予 防 科	7	7					
	警 防 科	5	4				1	
	救 助 科	7	7					
	救 急 科	1				1		
	火災調査科	3	3					
京 都 府 ・ 市 消 防 学 校	初 任 教 育	136	120	1	3	5	3	4
	専 門 科 教 育 等	予 防 査 察 科 (予 防 科 含 む)	109	104	1	1	1	1
		危 険 物 科	11	6	1	1	1	1
		警 防 科	31	28		1	1	1
		救 助 科	119	113	1	2	2	1
		幹 部 科	80	75	1	1	1	1
		救 急 科 (救急Ⅱ課程含む)	126	110	1	3	5	4
		特 別 教 育	71	67	4			
		救 急 救 命 士						
		集 合 教 育						
		特 殊 災 害 科	26	22	1	1	1	1
		火 災 原 因 調 査 科	25	23		1		1

年 度 研 修 名		合 計	令和元年 以前	令 和	令 和	令 和	令 和	令 和
				2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
救急救命士		33	30	1	1		1	
気管内挿管		31	24		1	2	2	2
薬剤投与		35	30		1	3	1	



# 予 防



第23回 京田辺市自衛消防隊訓練大会



# 事業所の防火

## 1. 防火対象物一覧表（事業所数及び棟数）

（令和7年4月1日現在）

政令の 区 分	業態	事業 所数	面積別棟数		
			合計	1,000㎡未満	1000㎡以上
	合計	1658	2305	1670	635
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場			
	ロ	公会堂又は集会場	68	75	66
2	イ	キャバレー、カフェーその他これらに類するもの			
	ロ	遊技場、ダンスホール	3	3	1
	ハ	風俗営業店、その他これに類するもの			
	ニ	カラオケボックス等	1	1	1
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	4	4	4
	ロ	飲食店	71	74	74
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	75	80	57
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所その他これらに類するもの	5	20	20
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	564	655	488
6	イ	(1) 特定診療科名を有し、療養病床、一般病床を有する病院	2	3	3
		(2) 特定診療科名を有し、4人以上の入院施設を有する診療所			
		(3) 病院（(1)を除く）、入院施設を有する診療所（(2)を除く）、入所施設を有する助産所	3	5	1
		(4) 入院、入所施設を有しない診療所、助産所	20	21	20
	ロ	(1) 老人福祉施設(避難が困難な要介護者主体)	14	14	5
		(2) 救護施設			
		(3) 乳児院			
		(4) 障害児入所施設		2	2
		(5) 障害者支援施設等(避難が困難な障害者主体)	7	6	6
	ハ	(1) 老人福祉施設で6項ロ(1)以外のもの	7	7	7
		(2) 更生施設			
		(3) 保育所、認定こども園等	19	24	15
		(4) 児童発達支援センター等	3	6	5
		(5) 障害者支援施設等で6項ロ(5)以外のもの	9	11	11
	ニ	幼稚園、特別支援学校	9	19	16
7		小・中・高等学校、大学、各種学校等	24	156	60
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	1	1	1
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの			
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1	1	1
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	5	5	2
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	18	23	21
12	イ	工場又は作業場	280	422	264
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫又は駐車場	7	22	13
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14		倉庫	76	182	144
15		前各項に該当しない事業場	141	227	188
16	イ	複合用途防火対象物のうち一部又は全部に特定用途のあるもの	159	165	119
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	54	52	41
16の2		地下街			
16の3		準地下街			
17		重要文化財等の建造物	8	19	19
18		延長50メートル以上のアーケード			
19		市町村長の指定する山林			
20		自治省令で定める舟車			

## 2. 防火対象物の階数別内訳等の状況(事業所数及び棟数)

(令和7年4月1日現在)

政令の 区 分	業態		事業 所数	階数別棟数			
				合計	4階 以下	5階～ 10階	11階 以上
	合計		1658	2305	2142	153	10
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場					
	ロ	公会堂又は集会場	68	75	75		
2	イ	キャバレー、カフェーその他これらに類するもの					
	ロ	遊技場、ダンスホール	3	3	3		
	ハ	風俗営業店、その他これに類するもの					
	ニ	カラオケボックス等	1	1	1		
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	4	4	4		
	ロ	飲食店	71	74	74		
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	75	80	79	1	
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所その他これらに類するもの	5	20	20		
	ロ	寄宿舍、下宿又は共同住宅	564	655	541	105	9
6	イ	(1) 特定診療科名を有し、療養病床、一般病床を有する病院	2	3	1	2	
		(2) 特定診療科名を有し、4人以上の入院施設を有する診療所					
		(3) 病院（(1)を除く）、入院施設を有する診療所（(2)を除く）、入所施設を有する助産所	3	5	2	3	
		(4) 入院、入所施設を有しない診療所、助産所	20	21	21		
	ロ	(1) 老人福祉施設(避難が困難な要介護者主体)	14	14	13	1	
		(2) 救護施設					
		(3) 乳児院					
		(4) 障害児入所施設		2	2		
		(5) 障害者支援施設等(避難が困難な障害者主体)	7	6	6		
	ハ	(1) 老人福祉施設で6項ロ(1)以外のもの	7	7	7		
		(2) 更生施設					
		(3) 保育所、認定こども園等	19	24	24		
		(4) 児童発達支援センター等	3	6	6		
		(5) 障害者支援施設等で6項ロ(5)以外のもの	9	11	11		
	ニ	幼稚園、特別支援学校	9	19	19		
7		小・中・高等学校、大学、各種学校等	24	156	147	9	
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	1	1	1		
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの					
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1	1	1		
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	5	5	5		
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	18	23	23		
12	イ	工場又は作業場	280	422	421	1	
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ					
13	イ	自動車車庫又は駐車場	7	22	21	1	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫					
14		倉庫	76	182	182		
15		前各項に該当しない事業場	141	227	224	3	
16	イ	複合用途防火対象物のうち一部又は全部に特定用途のあるもの	159	165	149	15	1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	54	52	40	12	
16の2		地下街					
16の3		準地下街					
17		重要文化財等の建造物	8	19	19		
18		延長50メートル以上のアーケード					
19		市町村長の指定する山林					
20		自治省令で定める舟車					

### 3. 防火管理の状況(事業所数)

(令和7年4月1日現在)

政令の 区 分		業態	法8該 事業所数	防火管理 者選任済 事業所数	消防計画 作成済 事業所数
		合計	488	384	354
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場			
	ロ	公会堂又は集会場	18	13	13
2	イ	キャバレー、カフェーその他これらに類するもの			
	ロ	遊技場、ダンスホール	3	1	1
	ハ	風俗営業店、その他これに類するもの			
	ニ	カラオケボックス等	1	1	1
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	3	2	3
	ロ	飲食店	35	27	27
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	44	34	32
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所その他これらに類するもの	1	1	1
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	83	70	61
6	イ	(1) 特定診療科名を有し、療養病床、一般病床を有する病院	2	2	2
		(2) 特定診療科名を有し、4人以上の入院施設を有する診療所			
		(3) 病院（(1)を除く）、入院施設を有する診療所（(2)を除く）、入所施設を有する助産所	3	3	3
		(4) 入院、入所施設を有しない診療所、助産所	3	3	3
	ロ	(1) 老人福祉施設(避難が困難な要介護者主体)	14	13	13
		(2) 救護施設			
		(3) 乳児院			
		(4) 障害児入所施設			
		(5) 障害者支援施設等(避難が困難な障害者主体)	7	5	5
	ハ	(1) 老人福祉施設で6項ロ(1)以外のもの	4	4	4
		(2) 更生施設			
		(3) 保育所、認定こども園等	18	15	15
		(4) 児童発達支援センター等	2	2	2
		(5) 障害者支援施設等で6項ロ(5)以外のもの	2	1	1
	ニ	幼稚園、特別支援学校	9	8	8
7		小・中・高等学校、大学、各種学校等	24	23	23
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	1	1	1
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの			
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場			
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場			
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	5	4	4
12	イ	工場又は作業場	45	41	38
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫又は駐車場			
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14		倉庫	8	8	8
15		前各項に該当しない事業場	43	35	28
16	イ	複合用途防火対象物のうち一部又は全部に特定用途のあるもの	97	59	50
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	12	7	6
16の2		地下街			
16の3		準地下街			
17		重要文化財等の建造物	1	1	1
18		延長50メートル以上のアーケード			
19		市町村長の指定する山林			
20		自治省令で定める舟車			



#### 4. 防火対象物査察実施状況(棟数)

(令和6年度)

政令の 区 分		業態	合計	京 田 辺 市	井手町	宇 治 田原町
		合計	1510	979	217	314
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場				
	ロ	公会堂又は集会場	48	27	12	9
2	イ	キャバレー、カフェーその他これらに類するもの				
	ロ	遊技場、ダンスホール	5	5		
	ハ	風俗営業店、その他これに類するもの				
	ニ	カラオケボックス等	1	1		
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	4	1	3	
	ロ	飲食店	42	27	3	12
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	47	36	2	9
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所その他これらに類するもの	18		7	11
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	389	341	41	7
6	イ	(1) 特定診療科名を有し、療養病床、一般病床を有する病院	6	6		
		(2) 特定診療科名を有し、4人以上の入院施設を有する診療所				
		(3) 病院（(1)を除く）、入院施設を有する診療所（(2)を除く）、入所施設を有する助産所	1	1		
		(4) 入院、入所施設を有しない診療所、助産所	10	8	1	1
	ロ	(1) 老人福祉施設(避難が困難な要介護者主体)	15	13	1	1
		(2) 救護施設				
		(3) 乳児院				
		(4) 障害児入所施設				
		(5) 障害者支援施設等(避難が困難な障害者主体)	10	3	1	6
	ハ	(1) 老人福祉施設で6項ロ(1)以外のもの	5		2	3
		(2) 更生施設				
		(3) 保育所、認定こども園等	25	18	5	2
		(4) 児童発達支援センター等	2	2		
		(5) 障害者支援施設等で6項ロ(5)以外のもの	7	4	1	2
	ニ	幼稚園、特別支援学校	19	15	3	1
7		小・中・高等学校、大学、各種学校等	139	119	11	9
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	1	1		
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの				
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1		1	
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	3	2	1	
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	12	6	3	3
12	イ	工場又は作業場	330	110	60	160
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫又は駐車場	5	5		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				
14		倉庫	77	29	26	22
15		前各項に該当しない事業場	134	76	19	39
16	イ	複合用途防火対象物のうち一部又は全部に特定用途のあるもの	105	87	11	7
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	27	21	2	4
16の2		地下街				
16の3		準地下街				
17		重要文化財等の建造物	22	15	1	6
18		延長50メートル以上のアーケード				
19		市町村長の指定する山林				
20		自治省令で定める舟車				

## 5. 消防用設備等設置状況(棟数)

(令和7年4月1日現在)

<div> <div>消防用設備等の区分</div> <div>防火対象物の区分</div> </div>	消火設備			警報設備		避難設備	
	屋内 消火栓	スプリンクラー	屋外 消火栓	自動火災 警報設備	非常 警報設備	避難 器具	誘導 灯
合 計	237	42	65	1100	314	213	783
公会堂・集会場	6			26	23		66
遊技場・カラオケボックス等	1			4	2	1	3
料理店	1			3		1	4
飲食店	1			9	22		47
マーケット・店舗等	6	2		43	29		74
旅館・ホテル				18			3
寄宿舍・下宿共同住宅	17	2		266	81	97	84
病院・診療所		4		16	8	3	27
老人・児童福祉施設	2	23		53	12	16	68
幼稚園・特別支援学校		1		11	2	5	12
小・中・高・大学	68	1	8	127	62	31	39
図書館	1			1			1
公衆浴場							1
車両の停車場	1			5			
神社・寺院・教会	1			2	3	1	1
工場・作業場	87		46	228	9	3	87
自動車車庫又は駐車場				9			4
倉庫	26	1	10	72	3	1	37
上記以外の事業場	12		1	59	35	10	76
特定複合用途対象物	7	8		105	18	34	127
特定以外の複合用途対象物				25	5	10	22
重要文化財建造物				18			

(注)任意に設置したものを除く。

# 危険物施設の状況

## 1. 製造所等施設数（倍数別）

（令和7年4月1日現在）

製造所等の区分 区別		合 計	数 量 の 倍 数 別												
			5 倍 以下	5 倍 を 超 え	10 倍 以下	10 倍 を 超 え	50 倍 以下	50 倍 を 超 え	100 倍 以下	100 倍 を 超 え	150 倍 以下	150 倍 を 超 え	200 倍 以下	200 倍 を 超 え	る も の
合 計		187	57	37	50	16	5	11	11						
製 造 所		2			1	1									
貯 蔵 所	小 計	111	44	21	19	11	2	10	4						
	屋内貯蔵所	51	16	11	12	2	1	8	1						
	屋外タンク貯蔵所	7	1	2	1	2	1								
	屋内タンク貯蔵所	1	1												
	地下タンク貯蔵所	33	10	8	3	7		2	3						
	簡易タンク貯蔵所														
	移動タンク貯蔵所	19	16		3										
	屋外貯蔵所														
取 扱 所	小 計	74	13	16	30	4	3	1	7						
	給油取扱所	23	1	1	11	1	3		6						
	第1種販売取扱所														
	第2種販売取扱所														
	移送取扱所														
	一般取扱所	51	12	15	19	3		1	1						

## 2. 製造所等施設数（類別）及び査察状況

（令和6年度）

製造所等の区分 類別		合計	類別						混在	査察実施 件数
			単独							
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		
合 計		187	1		2	182			2	185
製 造 所		2				2				2
貯蔵所	小 計	111	1		1	107			2	110
	屋 内 貯 蔵 所	51	1		1	47			2	51
	屋外タンク貯蔵所	7				7				7
	屋内タンク貯蔵所	1				1				1
	地下タンク貯蔵所	33				33				33
	簡易タンク貯蔵所									
	移動タンク貯蔵所	19				19				18
	屋 外 貯 蔵 所									
取扱所	小 計	74			1	73				73
	給 油 取 扱 所	23				23				23
	第1種販売取扱所									
	第2種販売取扱所									
	移 送 取 扱 所									
	一 般 取 扱 所	51			1	50				50

## 3. 危険物規制事務処理状況

（令和6年度）

製造所等の区分 区 別		許可		完成検査		廃止	仮使用
		設置	変更	設置	変更		
合 計		1	26	1	29	1	13
製 造 所			1		1		1
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所		1		1		
	屋外タンク貯蔵所						
	屋内タンク貯蔵所						
	地下タンク貯蔵所		1		1		1
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所		1		1	1	
	屋 外 貯 蔵 所						
取扱所	給 油 取 扱 所		5		6		4
	第1種販売取扱所						
	第2種販売取扱所						
	移 送 取 扱 所						
	一 般 取 扱 所	1	17	1	19		7

タンク完成検査前検査	
合計	7
水張 検査	6
水圧 検査	1

#### 4. 地区別施設数

(令和7年4月1日現在)

製造所等の区分		地区別	合 計	京田辺市	井 手 町	宇治田原町
合 計			187	117	17	53
製 造 所			2			2
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所		51	31	2	18
	屋外タンク貯蔵所		7	2	2	3
	屋内タンク貯蔵所		1	1		
	地下タンク貯蔵所		33	20	3	10
	簡易タンク貯蔵所					
	移動タンク貯蔵所		19	17	1	1
	屋 外 貯 蔵 所					
取 扱 所	給 油 取 扱 所		23	16	4	3
	第1種販売取扱所					
	第2種販売取扱所					
	移 送 取 扱 所					
	一 般 取 扱 所		51	30	5	16

#### 5. 少量危険物貯蔵取扱状況

(令和7年4月1日現在)

区 分	施 設 数
屋 内 貯 蔵	109
屋 外 タ ン ク 貯 蔵	73
屋 内 タ ン ク 貯 蔵	30
地 下 タ ン ク 貯 蔵	10
移 動 タ ン ク 貯 蔵	31
屋 外 貯 蔵	2
一 般 取 扱	96
合 計	351

## 建築確認申請消防同意の状況

### 1. 地区別・用途別消防同意件数

(令和6年度)

地区別 用途別	合 計	京 田 辺 市	井手町	宇治田原町
合 計	74	51	12	11
防火対象物	43	30	6	7
住 宅	5	3	1	1
そ の 他	26	18	5	3

### 2. 年度別・工事別消防同意件数(過去10年間)

工事別 年度別	合計	新築	増築	改築	移転	修繕	模様替	建築 設備	用途 変更
平成27年度	86	71	14				1		
平成28年度	84	75	9						
平成29年度	80	72	5				1		2
平成30年度	84	79	5						
令和元年度	84	80	4						
令和2年度	70	66	4						
令和3年度	84	65	17						2
令和4年度	85	69	16						
令和5年度	67	52	14			1			
令和6年度	74	68	5						1

## 予防関係等届出状況

(令和6年度)

届 出 等 の 種 類	受 理 件 数
防火管理者選解任届	143
消防計画（変更を含む）届	119
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始（廃止）届	21
防火対象物使用開始届	111
ボイラー設備等設置届	18
電気設備設置届	25
火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある行為等の届	243
煙火打上げ・仕掛届	0
催物開催届	1
火気等を使用する露店等の開設届	117
少量危険物・指定可燃物貯蔵・取扱届（廃止届を含む）	41
消防用設備等設置届	160
消防用設備等点検結果報告書	1322
道路工事届	147

## 防 火 指 導 状 況

(令和 6 年度)

対象・回数等 実施事項	事 業 所		一 般 住 民	
	回 数	人 員	回 数	人 員
消火訓練	155	2, 129	23	1, 318
通報・避難訓練	339	16, 368	7	601
防火映画会	2	245	1	17
巡回防火教室 (幼稚園・保育所等)	24	2, 823		
防火講話	13	289	9	281
起震車体験	4	273	5	709

## 広 報 活 動 状 況

(令和 6 年度)

種 別	実 施 回 数
報道機関等の掲載	48
懸垂幕・横断幕の掲出	6
防火立て看板の掲出 (一般・山林・車両)	13
防火旗の掲出	22
巡回防火広報	239
防火パレード	20
消防庁舎見学	24





# 警 防



令和 7 年配備 救助工作車



消 防 車 両 配 置 状 況

1. 消防車両

(令和7年4月1日現在)

所属		種 類	車 番	車 名	年 式	型 式
消 防 本 部		司令車	京都 800 せ 633	ニッサン	平成 22 年	D B A－J32
		予防指導車	京都 400 と 6861	ト ヨ タ	平成 23 年	A B F－S 402M
		活動支援車	京都 301 せ 9033	ト ヨ タ	平成 20 年	C B A－T R H214W
		予防査察車	京都 480 ひ 927	ダイハツ	令和 3 年	5 B D－S 331V
消 防 署	本 署	消防ポンプ車	京都 800 そ 1356	日 野	令和 3 年	2 K G－X Z U685M
		消防ポンプ車	京都 800 せ 5954	日 野	平成 28 年	T K G－X Z U685M
		消防ポンプ車	京都 800 す 5837	三 菱	平成 19 年	P A－F E73D C Y
		化学消防ポンプ車	京都 800 は 1496	日 野	平成 27 年	L D G-F E7 J G A A
		救助工作車	京都 800 は 2195	日 野	令和 7 年	G X 2 A B－1 0 1 9 9 2
		はしご消防ポンプ車	京都 800 は 1323	日 野	平成 25 年	L D G-P R 1 A P B F
		高規格救急車	京都 800 そ 1372	ニッサン	令和 3 年	C B F－C S 8 E26改
		高規格救急車	京都 800 せ 2809	ト ヨ タ	平成 25 年	C B F－T R H226 S
		資機材搬送車	京都 800 す 9683	三 菱	平成 22 年	P D G－F E72D
		指揮隊車	京都 800 せ 6974	ト ヨ タ	平成 28 年	C B F－T R H216K
		支援車	京都 880 あ 3400	ダイハツ	令和 元 年	H B D－S 331V
		原動機付自転車	京田辺市 い 3158	ホ ン ダ	平成 16 年	B A－A A01
		原動機付自転車	京田辺市 い 1462	ホ ン ダ	平成 7 年	C 50
		原動機付自転車	京田辺市 い 1463	ホ ン ダ	平成 7 年	A F 27
	北 部 分 署	消防ポンプ車	京都 800 せ 9299	日 野	平成 31 年	T K G－X Z U685M
		高規格救急車	京都 800 せ 8050	ト ヨ タ	平成 30 年	C B F－T R H226 S
		指揮支援車	京都 800 そ 3282	ニッサン	令和 5 年	3 D F－V N6 E26
		原動機付自転車	京田辺市 い 3306	ホ ン ダ	平成 16 年	B A－A A01
	井 手 分 署	消防ポンプ車	京都 832 り 119	日 野	令和 5 年	2 K G－X Z U685M
		高規格救急車	京都 830 す 1199	ト ヨ タ	平成 26 年	C B F－T R H226 S
		指揮支援車	京都 830 せ 9223	ト ヨ タ	平成 31 年	Q D F－G D H206V
		原動機付自転車	井手町 い 27	ホ ン ダ	平成 6 年	C－50－S P
	宇 治 田 原 分 署	消防ポンプ車	京都 832 ら 119	日 野	令和 5 年	2 K G－X Z U685M
		高規格救急車	京都 830 て 5500	ト ヨ タ	令和 6 年	C B F－T R H226 S
		指揮支援車	京都 800 せ 8139	ト ヨ タ	平成 30 年	D B F－S 412M
		原動機付自転車	宇治田原町 う 936	ホ ン ダ	平成 21 年	J B H－A F 67

## 2. 消防用機器の保有状況

(令和7年4月1日現在)

器具別	品名	合計	消防本部・署	北部分署	井手分署	宇治田原分署
警 防 ・ 救 助	可搬式小型ポンプ	8	3	2	1	2
	可搬式発電機	15	10	3	1	1
	可搬式投光器	24	12	7	1	4
	三連はしご	10	7	1	1	1
	かぎ付きはしご	10	7	1	1	1
	金属製折りたたみはしご	1	1			
	空気式救助マット	1	1			
	救命索発射銃	1	1			
	救助用縛帯	15	9	1	3	2
	油圧スプレッダー	4	2	1		1
	大型油圧スプレッダー	3	3			
	油圧切断機	4	2	1		1
	大型油圧切断機	2	2			
	油圧ジャッキ	3	3			
	可搬ウインチ	5	3		1	1
	アリゾナボーテックス	2	2			
	マット型空気ジャッキ	2	2			
	空気鋸	2	2			
	空気切断機	2	2			
	エンジンカッター	7	4	1	1	1
	チェーンソー	6	3	1	1	1
	削岩機	2	2			
	ハンマドリル	2	2			
	送排風機	3	3			
	可搬式ブロアー	2	1	1		
	簡易画像探査機	1	1			
	空気呼吸器	36	23	5	4	4

器具別	品名	合計	消防本部・署	北部分署	井手分署	宇治田原分署
警防・救助	化学防護服	152	50	36	38	28
	陽圧式化学防護服	10	10			
	耐熱服	2	2			
	防塵マスク	44	35	4	5	
	酸素・可燃性ガス測定器	6	3	1	1	1
	有毒ガス測定器	6	3	1	1	1
	放射線測定器	4	4			
	耐電手袋	18	11	7		
	耐電衣	4	4			
	耐電ズボン	4	4			
	耐電長靴	8	6	2		
	平担架	3	3			
	バスケット担架	4	4			
	潜水器具一式	6	6			
	救命胴衣	73	36	10	12	15
	救命ボート（船外機付き）	3	3			
救急	半自動除細動器（車載用）	5	2	1	1	1
	A E D	5	2	1	1	1
	自動式心マッサージ器	4	1	1	1	1
	人工呼吸器（車載用）	8	3	2	1	2
	患者監視装置	5	2	1	1	1
	小型電動式吸引器	5	2	1	1	1
	血圧計	6	2	1	2	1
	喉頭鏡	14	5	3	3	3
	バックボード担架	18	5	4	3	6
	殺菌用オゾン発生器	7	3	2		2
	多数傷病者用エアーテント	2	2			

### 3. 通信施設

(令和7年4月1日現在)

施設別		所属別	消防本部・署	北部分署	井手分署	宇治田原分署	合 計
携帯電話			5	2	1	2	10
庁内電話			36	16	12	9	73
IP無線機			4	3	2	2	11
加入回線			7	1	1	1	10
119番専用回線携帯 (119電話回線 I P 及び 119電話回線含む)			4				4
携帯119転送回線			2				2
衛星119回線			2				2
福祉緊急通報装置回線			4				4
出動指令等署所端末装置回線			2	2	2	2	8
災害等案内電話			1				1
順次指令装置回線			2				2
F A X			2	1	1	1	5
井手町消防団サイレン吹鳴電話			1				1
府救急医療情報端末機			3	1	1	1	6
市・府防災行政無線			2				2
府地震観測装置			1				1
高山ダム放流専用 F A X			1				1
消防専用	基 地 局		1			1	2
	陸 上 無線局	車載型	13	3	3	3	22
		携帯型	12	4	4	4	24
		可搬型	1	1	1		3

# 消 防 水 利 状 況

## 1. 防火水槽

(令和7年4月1日現在)

地区別 種別・容量	京 田 辺 市						井手町	宇 治 田原町	合 計
	大 住	田 辺	草 内	三山木	普賢寺	計			
20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満	41	60	33	44	20	198	13	27	238
40m <sup>3</sup> 以上 60m <sup>3</sup> 未満	100	111	28	59	5	303	64	126	493
60m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	14	4	1	2	2	23	1	4	28
100m <sup>3</sup> 以上	2			1		3	1	6	10
20m <sup>3</sup> 未満 (有 蓋)	3					3	1	15	19
合 計	160	175	62	106	27	530	80	178	788

## 2. 消火栓

(令和7年4月1日現在)

地区別 種別	京 田 辺 市						井手町	宇 治 田原町	合 計
	大 住	田 辺	草 内	三山木	普賢寺	計			
消 火 栓	381	335	140	178	73	1,107	328	586	2,021

## 3. その他

(令和7年4月1日現在)

地区別 種別	京 田 辺 市						井手町	宇 治 田原町	合 計
	大 住	田 辺	草 内	三山木	普賢寺	計			
プ ー ル	0	1	1	1	0	3	2	3	8

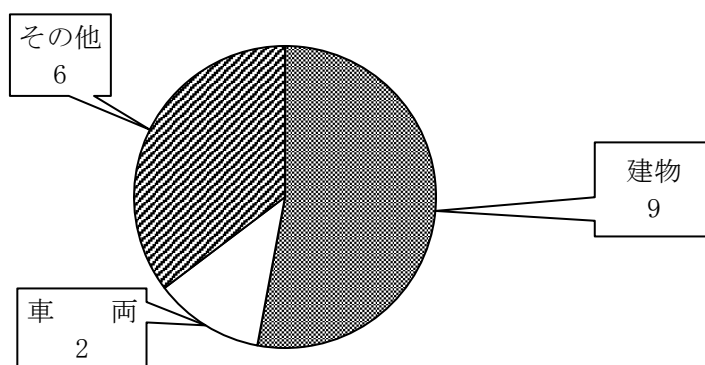


# 火 災 の 状 況

## 1. 火災の概要

(令和6年)

区 分		京田辺市	井手町	宇治田原町	合 計
出火件数 (件)	建 物	4	1	4	9
	林 野				0
	車 両	2			2
	そ の 他	4	2		6
	計	10	3	4	17
損害見積額 (千円)	建 物	29,486	9,756	139	39,381
	林 野				0
	車 両	477			477
	そ の 他	163			163
	計	30,126	9,756	139	40,021
焼損面積	建物 (㎡)	212	94	259	565
	林 野 (a)				0
	そ の 他				0
焼損棟数 (棟)	全 焼		1	2	3
	半 焼				0
	部 分 焼	3			3
	ボ ヤ	1		2	3
り災世帯 (世帯)	全 損				0
	半 損				0
	小 損	1		2	3
死傷人 (人)	死 者				0
	負 傷 者	1		3	4



## 2. 覚知方法別火災件数

(令和6年)

区 分	京田辺市	井手町	宇治田原町	合 計
専 用 電 話 ( 携 帯 )	9 (6)	1 (1)	4 (2)	14 (9)
加 入 電 話	1			1
事 後 聞 知		1		1
そ の 他		1		1
合 計	10 (6)	3 (1)	4 (2)	17 (9)

## 3. 地区別火災等発生状況

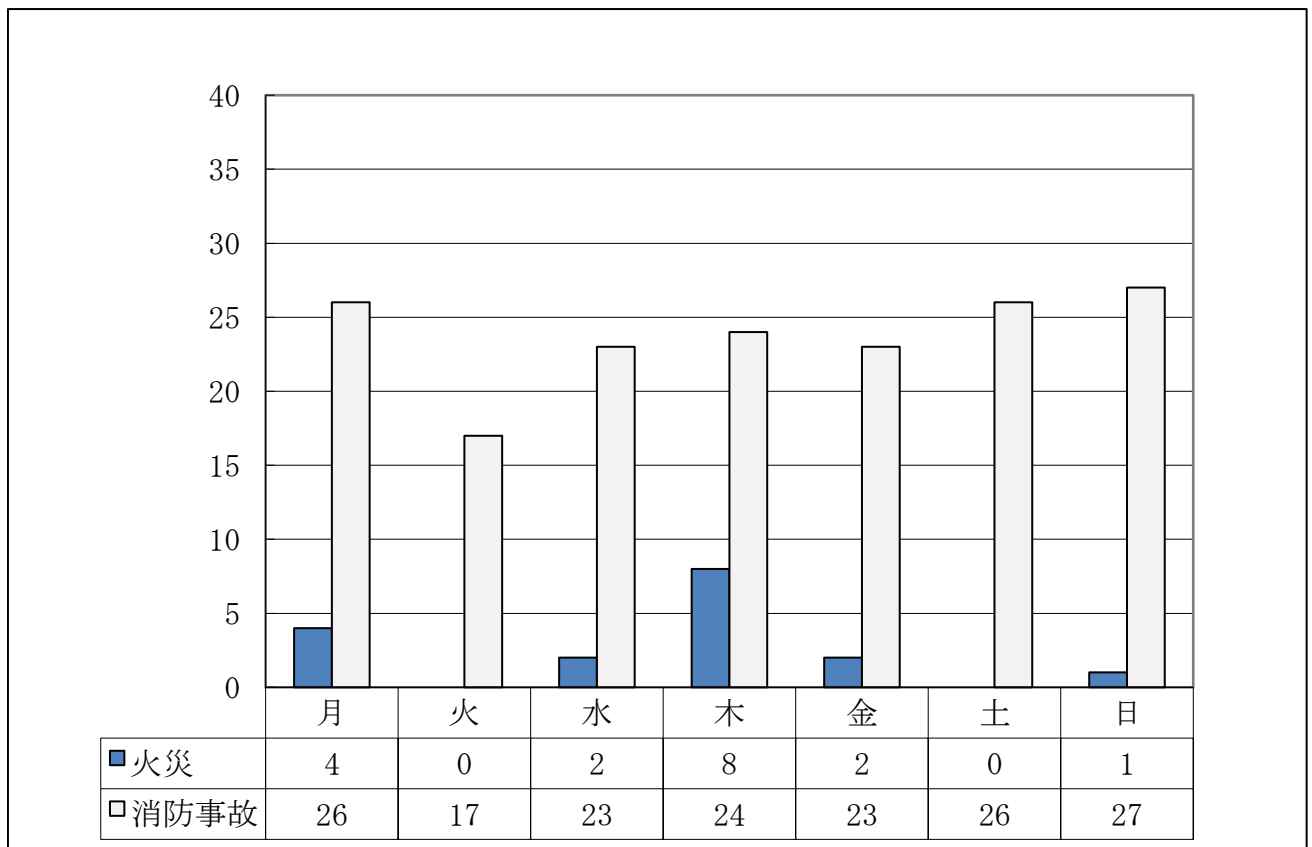
(令和6年)

区 分		火 災	消 防 事 故
京田辺市	大 住	5	25
	田 辺	4	45
	草 内	1	24
	三 山 木		25
	普 賢 寺		5
	計	10	124
井 手 町	井 手	1	15
	多 賀	2	2
	田 村 新 田		
	計	3	17
宇治田原町	南	2	
	立 川	1	2
	湯 屋 谷		2
	奥 山 田		4
	銘 城 台		1
	郷 之 口	1	5
	荒 木		1
	高 尾		1
	岩 山		5
	禪 定 寺		2
	贄 田		
	緑 苑 坂		
	計	4	23
管 外			2
合 計		17	166

#### 4. 曜日別火災等発生件数

(令和6年)

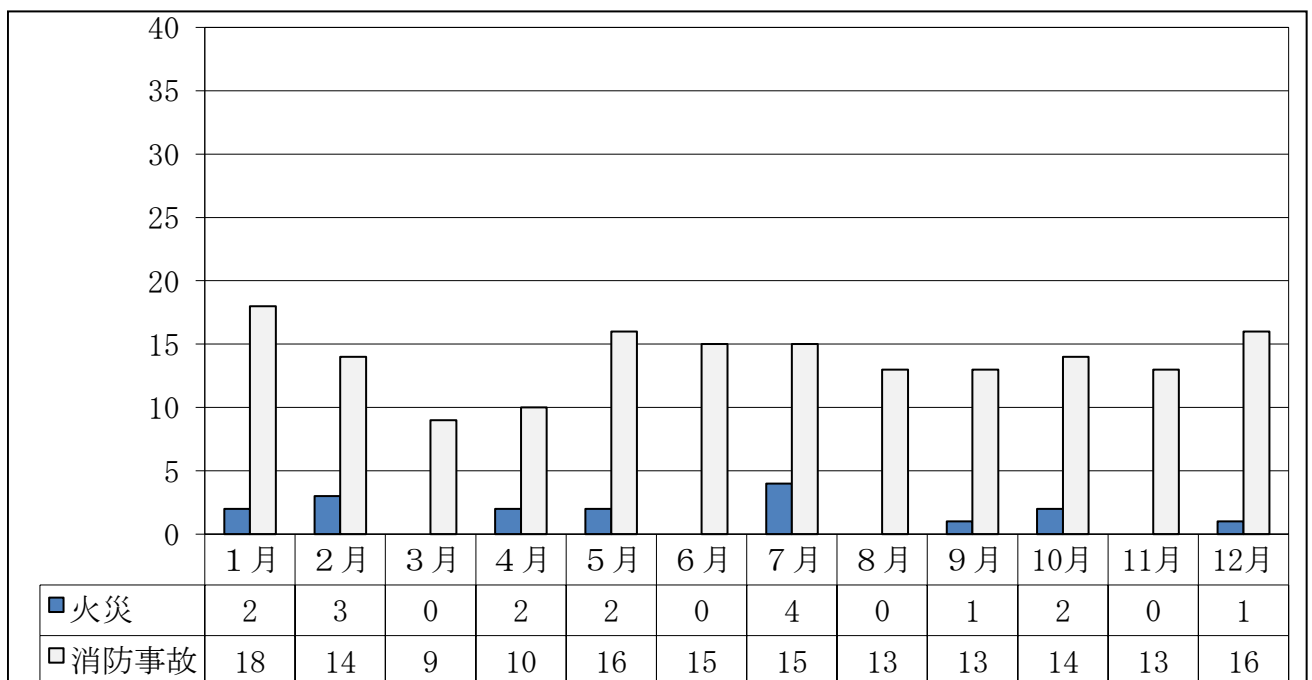
区 分 曜日別	京 田 辺 市		井 手 町		宇治田原町		管 外	合 計	
	火 災	消 防 事 故	火 災	消 防 事 故	火 災	消 防 事 故	消 防 事 故	火 災	消 防 事 故
月	3	21		2	1	2	1	4	26
火		12		4		1		0	17
水	1	16	1	1		6		2	23
木	4	17	2	3	2	3	1	8	24
金	1	18		2	1	3		2	23
土		23				3		0	26
日	1	17		5		5		1	27
合 計	10	124	3	17	4	23	2	17	166



## 5. 月別火災等発生件数

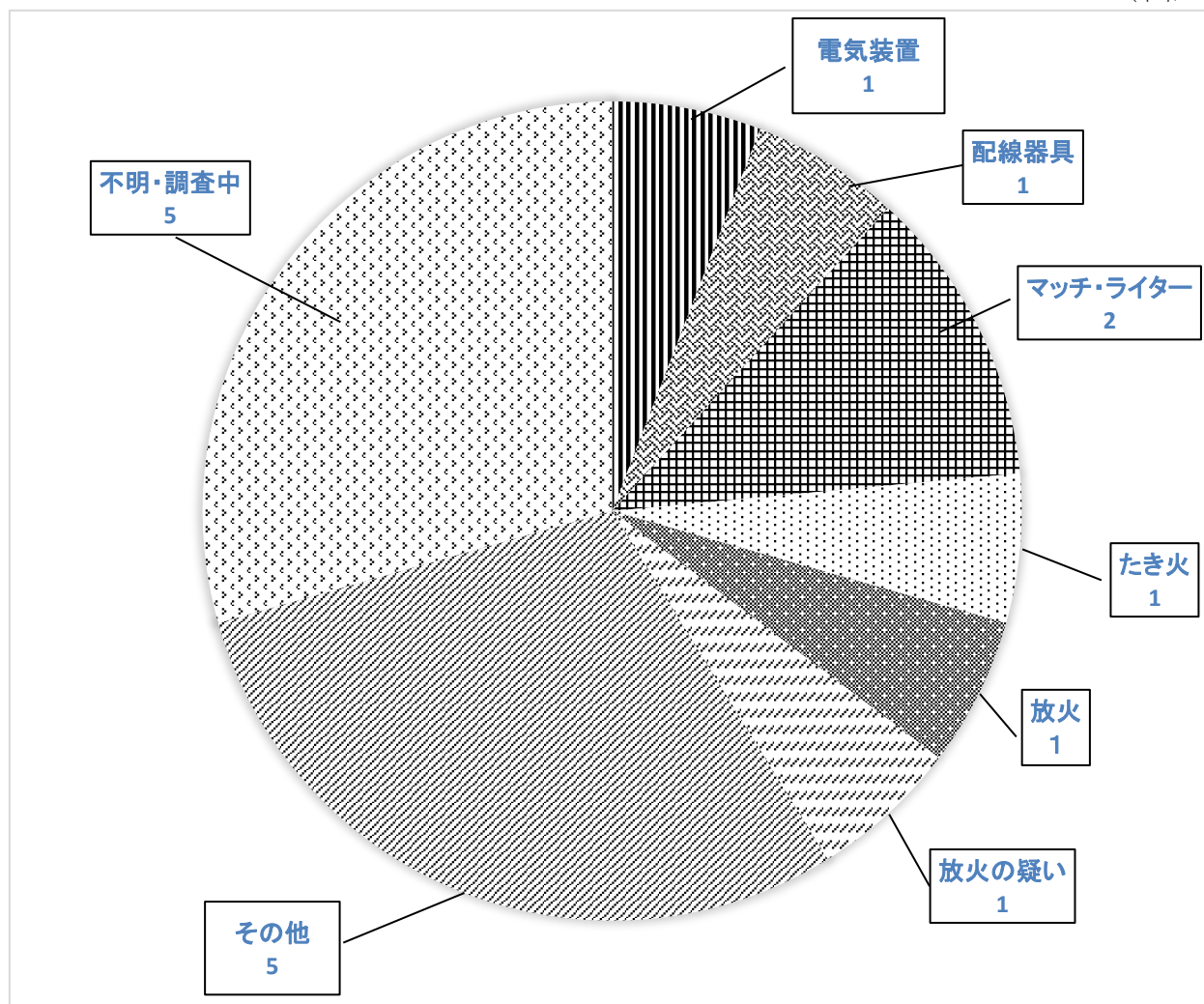
(令和6年)

区 分 月 別	京 田 辺 市		井 手 町		宇治田原町		管 外	合 計	
	火 災	消 防 事 故	火 災	消 防 事 故	火 災	消 防 事 故	消 防 事 故	火 災	消 防 事 故
1 月	1	13		1	1	4		2	18
2 月	2	8	1	2		4		3	14
3 月		8				1		0	9
4 月	2	8		1		1		2	10
5 月	2	13		1		2		2	16
6 月		10		3		2		0	15
7 月	1	11		2	3	1	1	4	15
8 月		9		2		2		0	13
9 月		10	1	1		1	1	1	13
10 月	2	10		1		3		2	14
11 月		11		2				0	13
12 月		13	1	1		2		1	16
合 計	10	124	3	17	4	23	2	17	166



## 6. 出火原因別火災発生状況

(令和6年)



※ その他については、各原因に該当しないもの。

## 7. 地区別消防事故発生状況

(令和6年)

区 分	京 田 辺 市	井 手 町	宇 治 田 原 町	管 外	合 計
発 報	73	11	6	1	91
漏 洩 流 出	25	2	11	1	39
電 気	2	1	1		4
そ の 他	24	3	5		32
合 計	124	17	23	2	166

## 8. 過去10年間の火災推移状況

区 分 年 別	発 生 件 数					焼 損 棟 数	焼損面積		死傷者数		り 災 世 帯 数 (世帯)	損害額 (千円)
	合計	建物	林野	車両	その他		建物 (㎡)	林野 (a)	死者 (人)	負傷者 (人)		
平成27年	18	11		5	2	12	460		1	2	7	46,354
平成28年	19	10	1	3	5	8	193	30		1	8	6,596
平成29年	21	11	1	5	4	19	393	150		3	13	24,186
平成30年	22	9		4	9	13	3,170			1	2	201,493
令和元年	19	13	3	2	1	17	211	104	1	4	9	57,696
令和2年	13	11		1	1	13	970			3	8	30,611
令和3年	10	8		1	1	13	546		2	1	12	31,877
令和4年	22	15	1	2	4	16	787	4660	2	4	11	25,198
令和5年	19	14		1	4	13	24			5	9	5,226
令和6年	17	9		2	6	9	565			4	3	40,021

## 9. 過去5年間の出火原因推移状況

原因別 年 別	たばこ	風呂	焼却炉	ストーブ	こたえ	ボイラ	煙突・煙道	排気管	電気機器	電気装置	電灯・電話等の配線	内線燃機	配線器具	火線あそび	マッチ・ライター	たき火	溶接機・切断機	灯の火花	衝突の火	取入れ	火の疑い	放火の疑い	その他	不明・調査中	合 計
令和2年	2			1					2				1		1	1			1				3	1	13
令和3年	1								1													1	3	4	10
令和4年		2						2	2	1			1		3							2	6	3	22
令和5年	2	2	1					1	1		1					2	1			1		1	4	2	19
令和6年										1			1		2	1					1	1	5	5	17

※ その他については、各原因に該当しないもの。

# 救急活動の状況

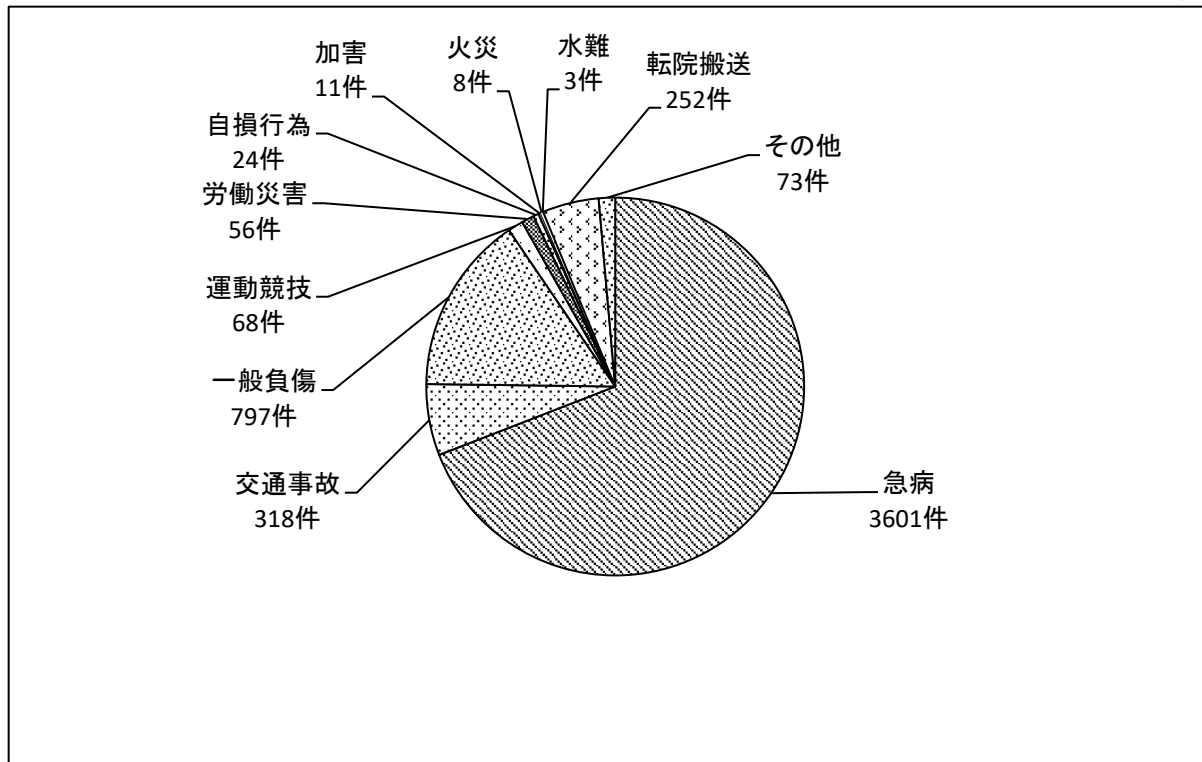
## 1. 救急の概況（自治体別）

（令和6年）

区 分		京 田 辺 市	井 手 町	宇治田原町	管 外	合 計
出 場 件 数	急 病	2,765	429	403	4	3,601
	交 通 事 故	216	23	66	13	318
	一 般 負 傷	592	99	105	1	797
	運 動 競 技	62	4	2		68
	労 働 災 害	36	8	12		56
	自 損 行 為	17	2	5		24
	加 害	9	1	1		11
	火 災	4		3	1	8
	自 然 災 害					0
	水 難	3				3
	転院搬送	241	8	3		252
	そ の 他	59	8	6		73
	計	4,004	582	606	19	5,211
搬 送 人 員	急 病	2,610	406	387	3	3,406
	交 通 事 故	210	20	68	10	308
	一 般 負 傷	564	92	102	1	759
	運 動 競 技	64	4	2		70
	労 働 災 害	36	8	11		55
	自 損 行 為	13	1	3		17
	加 害	6	1	1		8
	火 災	1		2	1	4
	自 然 災 害					0
	水 難	2				2
	転院搬送	241	8	3		252
	そ の 他	2				2
	計	3,749	540	579	15	4,883
不搬送件数		268	44	38	4	354

## 2. 事故種別救急出場の状況

(令和6年)



## 3. 月別救急出場の状況

(令和6年)

種別 月別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
1月	335	26	65	60	486
2月	306	22	58	30	416
3月	275	21	59	42	397
4月	256	32	62	36	386
5月	251	28	89	35	403
6月	302	24	45	36	407
7月	351	31	78	51	511
8月	329	21	70	37	457
9月	262	27	57	40	386
10月	259	33	78	38	408
11月	284	24	73	41	422
12月	391	29	63	49	532
合計	3,601	318	797	495	5,211

※ その他については、急病、交通事故、一般負傷以外のもの。

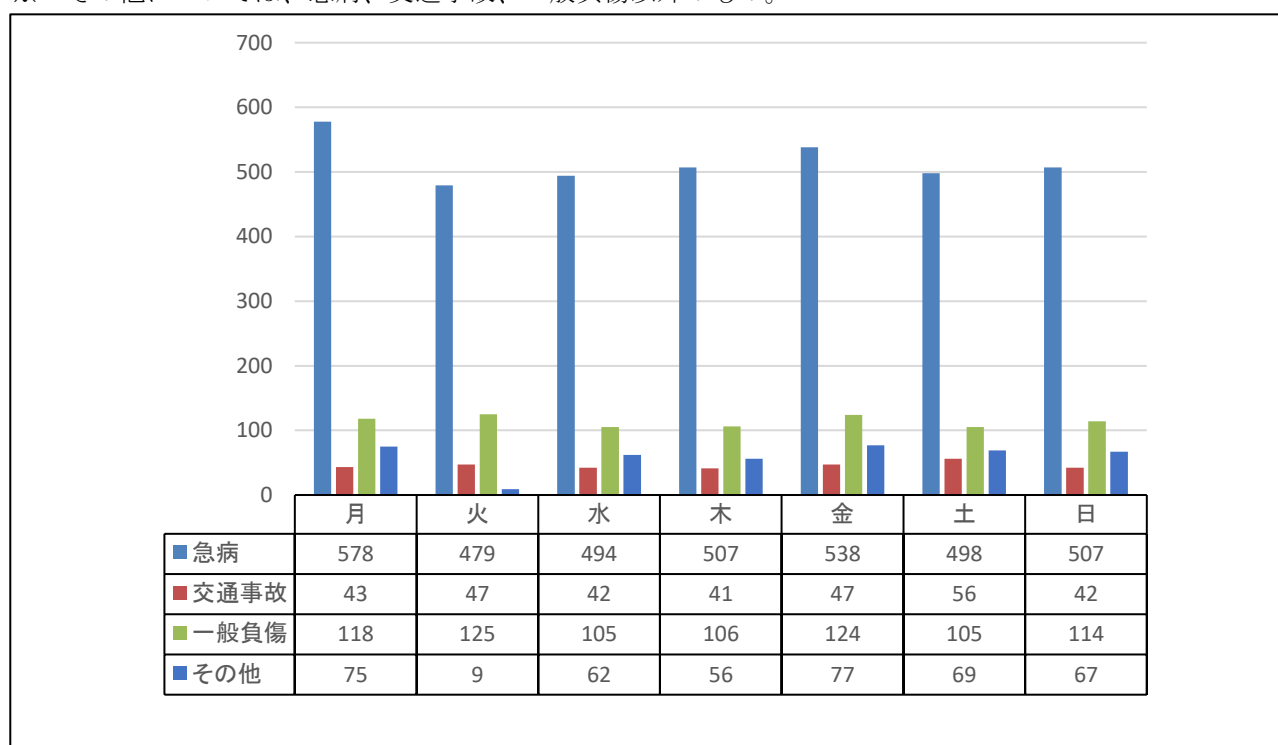


#### 4. 曜日別救急出場の状況

(令和6年)

曜日別 区 分		月	火	水	木	金	土	日
京 田 辺 市	急 病	437	372	384	391	416	377	388
	交 通 事 故	35	33	26	29	32	34	27
	一 般 負 傷	82	97	75	82	95	81	80
	そ の 他	65	79	53	49	65	163	57
井 手 町	急 病	82	52	48	49	61	64	73
	交 通 事 故	3	1	2	5	3	8	1
	一 般 負 傷	13	15	16	10	13	13	19
	そ の 他	4	5	4	4	5	5	4
宇治田原町	急 病	57	55	62	67	60	57	45
	交 通 事 故	3	12	12	4	11	11	13
	一 般 負 傷	22	13	14	14	16	11	15
	そ の 他	6	5	5	3	7	1	5
管 外	急 病	2				1		1
	交 通 事 故	2	1	2	3	1		1
	一 般 負 傷	1						
	そ の 他							1
合 計	急 病	578	479	494	507	538	498	507
	交 通 事 故	43	47	42	41	47	56	42
	一 般 負 傷	118	125	105	106	124	105	114
	そ の 他	75	9	62	56	77	69	67
	計	814	740	703	710	786	728	730

※ その他については、急病、交通事故、一般負傷以外のもの。



※ その他については、急病、交通事故、一般負傷以外のもの。

## 5. 年齢別搬送人員の状況

(令和6年)

区 分		新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合 計
		生後28日未満	生後28日以上満7歳未満	満7歳以上満18歳未満	満18歳以上満65歳未満	満65歳以上	
京 田 辺 市	急 病		111	72	738	1,689	2,610
	交 通 事 故		4	29	117	60	210
	一 般 負 傷	1	35	17	77	434	564
	そ の 他	1	15	31	138	180	365
井 手 町	急 病		5	10	103	288	406
	交 通 事 故		1	5	8	6	20
	一 般 負 傷		5		9	78	92
	そ の 他			4	9	9	22
宇 治 田 原 町	急 病		9	5	81	292	387
	交 通 事 故		1	9	48	10	68
	一 般 負 傷		6	3	15	78	102
	そ の 他			2	12	8	22
管 外	急 病					3	3
	交 通 事 故				10		10
	一 般 負 傷					1	1
	そ の 他					1	1
合 計	急 病		125	87	922	2,272	3,406
	交 通 事 故		6	43	183	76	308
	一 般 負 傷	1	46	20	101	591	759
	そ の 他	1	15	37	159	198	410
	計	2	192	187	1,365	3,137	4,883

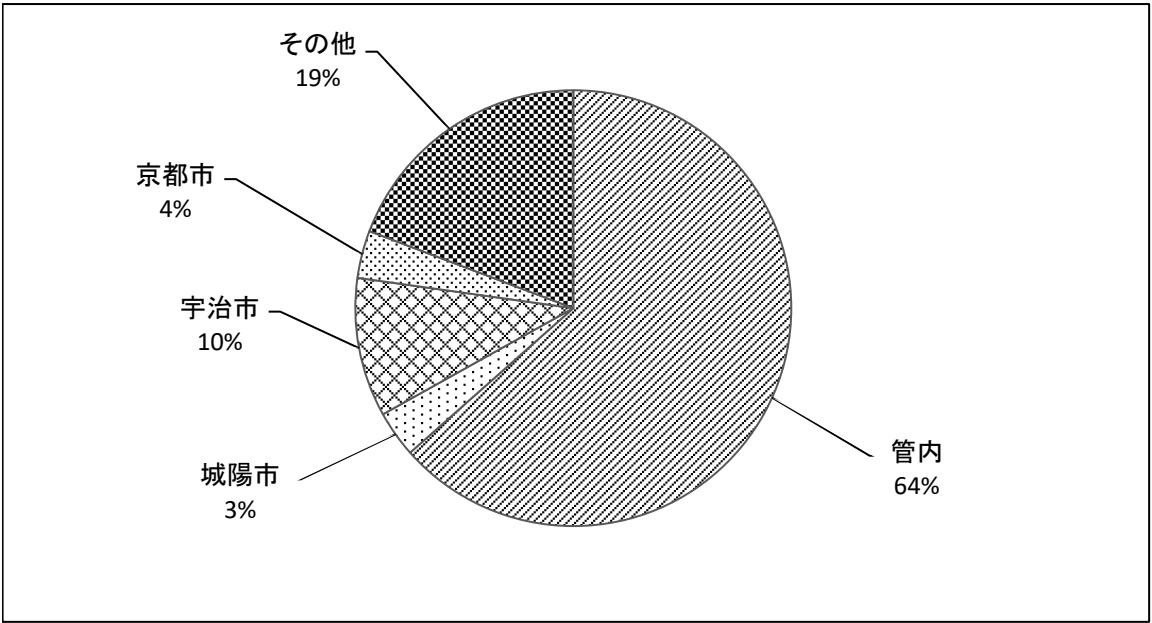
※ その他については、急病、交通事故、一般負傷以外のもの。

6. 医療機関所在地別搬送人員の状況

(令和6年)

区 分	京田辺市	井 手 町	宇治田原町	管 外	合 計
管 内	2,492	332	271	4	3,099
城 陽 市	129	31	8		168
宇 治 市	231	55	214	4	504
京 都 市	128	22	22		172
そ の 他	769	100	64	7	940
合 計	3,749	540	579	15	4,883

※ その他については、管内、城陽市、宇治市、京都市以外の市町



7. 救急指導状況

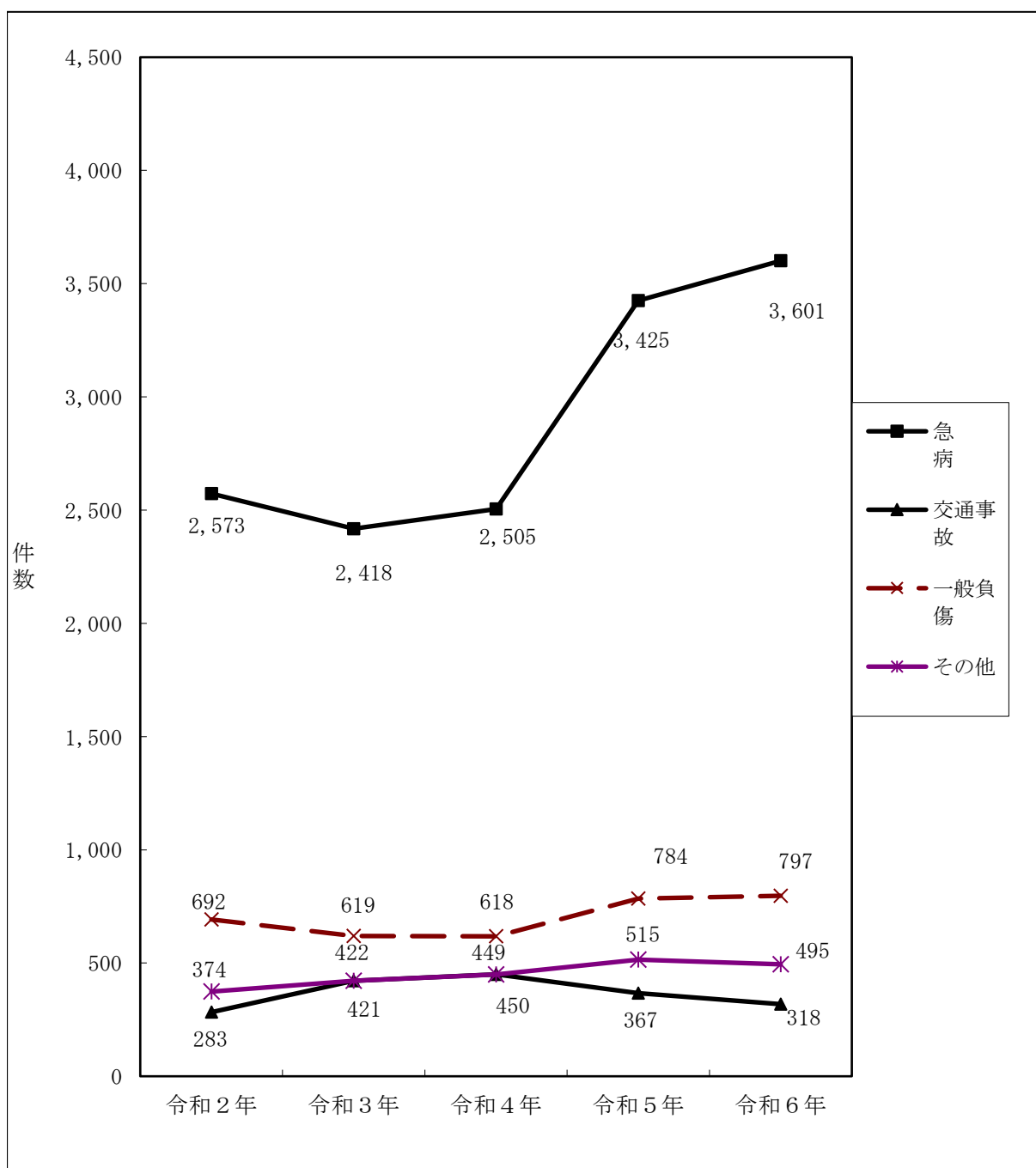
(令和6年)

項 目	回数	受講者数
住 民 、 事 業 所 対 象 救 急 指 導	81	2,144
普 通 救 命 講 習 会	76	910
上 級 救 命 講 習 会	4	25

## 8. 過去5年間救急出場件数推移状況

区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
急 病	2,573	2,418	2,505	3,425	3,601
交通事故	283	421	450	367	318
一般負傷	692	619	618	784	797
その他	374	422	449	515	495
合 計	3,922	3,880	4,022	5,091	5,211

※ その他については、急病、交通事故、一般負傷以外のもの。



## 救 助 活 動 の 状 況

### 1. 救助の概要

区 分		京田辺市	井手町	宇治田原町	管外	合 計
火 災	建 物					
	建 物 以 外					
交 通 事 故		7	1	6		14
水 難 事 故		3				3
風水害等自然災害						
機 械 事 故						
建物等による事故		43	2	3		48
ガス及び酸欠事故				1		1
破 裂 事 故						
そ の 他 の 事 故		3	4	2		9
合 計		56	7	12	0	75

### 2. 過去5年間の救助出場件数

年 別 区 分		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
火 災	建 物		1	1	2	
	建 物 以 外					
交 通 事 故		14	12	14	9	14
水 難 事 故		4	5	3	3	3
風水害等自然災害						
機 械 事 故				1	2	
建物等による事故		23	26	34	34	48
ガス及び酸欠事故		2	1	1		1
破 裂 事 故						
そ の 他 の 事 故		9	8	13	19	9
合 計		52	53	67	69	75

# 気象情報等受信状況

(令和6年)

区 分		月 別												合 計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
特別警報	暴風													0
	大雨													0
	大雪													0
	小計													0
警報	暴風													0
	大雨													0
	洪水													0
	大雪													0
	小計													0
注意報	風雪			1										1
	強風			1					1			1		3
	大雨			1		2	5		1			1		10
	洪水											1		1
	大雪													0
	雷	2	3	5	4	4	9	12	11	11	7	3	1	72
	乾燥			4	5	6	3	1	5	1		2	6	33
	濃霧		2			1	2					1		6
	霜			10	6	1								17
	低温													0
	小計	2	5	22	15	14	19	13	18	12	7	9	7	143
気象情報	京都府火災気象通報			14	12	21	7	1	18	4		6	9	92
	大雨に関する京都府気象情報					3	11	2		2	1	2		21
	大雪に関する京都府気象情報	5	3											8
	雪に関する京都府気象情報											1		1
	その他の気象情報	1	1	5	9	7	14	30	20	5	3	9		104
	京都地方気象台	各地の震度に関する情報												1
		地震情報（震源、震度に関する情報）												34
	気象庁	地震情報（震源に関する情報）												279
		遠地地震の震源、震度に関する情報												0
	府県気象情報	台風に関する京都府気象情報												3
	消防庁 応急対策室	台風警戒情報												0
	高山ダム放流連絡			1	3	1	2	2						9
	雨量水位情報													0
	普賢寺川水防警報	1	1	4	4	7	12	9	8	1	3	4		54
	小計	109	41	51	51	56	64	64	64	22	19	45	20	606
合 計		111	46	73	66	70	83	77	82	34	26	54	27	749



# 消防団



令和6年度京田辺市消防団年末警戒市長激励





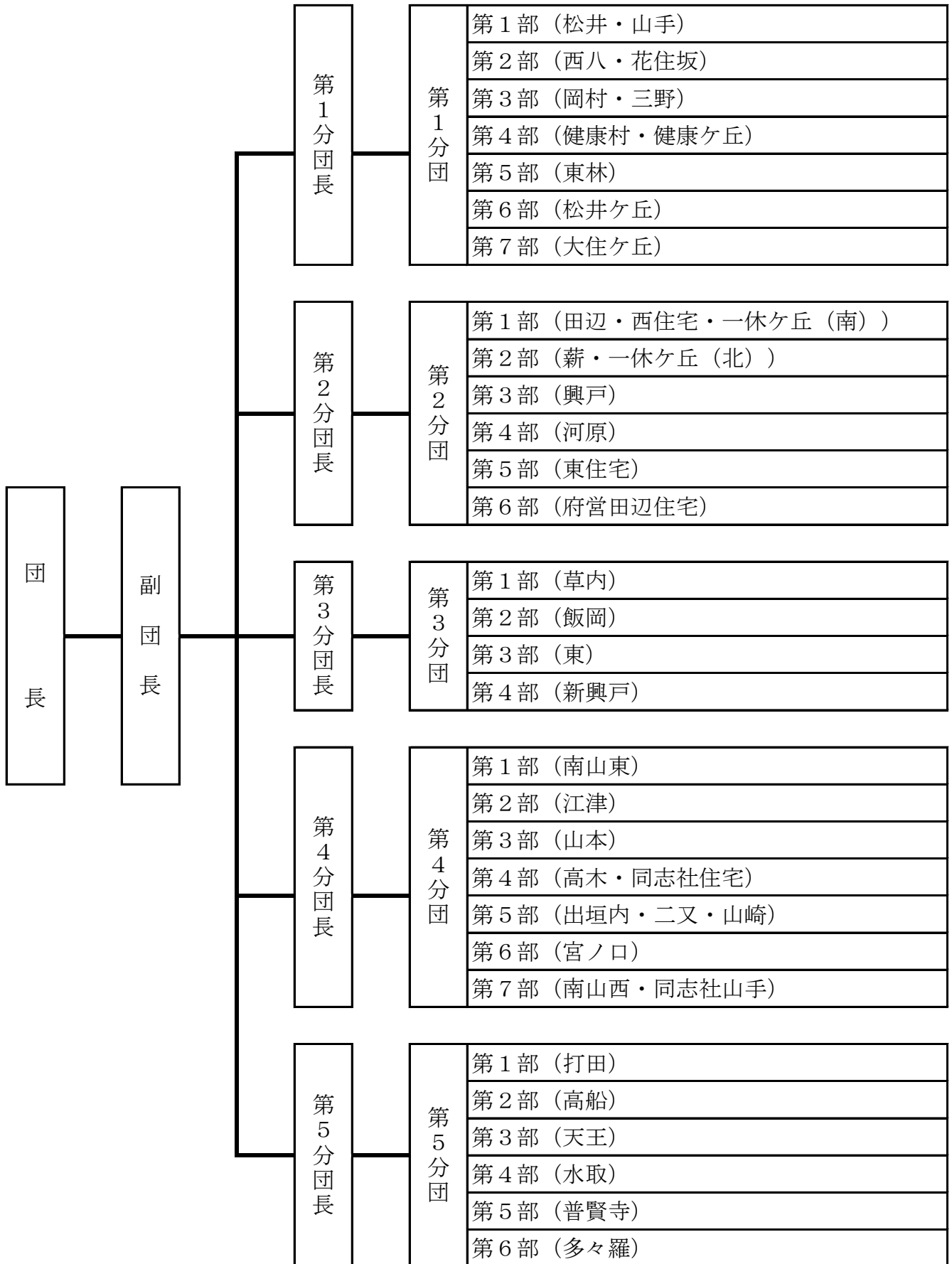
## 消 防 団 の 沿 革

明治	39年	10月	消防組発足
昭和	14年	4月	消防組が警防団に改組
昭和	25年	4月	田辺町消防団条例、田辺町消防団規則制定
昭和	26年	4月	田辺町に大住村、草内村、三山木村、普賢寺村の4カ村が統合され、各村の消防団を田辺町消防団として統合発足、消防団本部を田辺町役場総務課に設置、5分団805人、手引ガソリンポンプ8台、腕用ポンプ8台 初代消防団長に竹村為雄氏就任
昭和	27年	7月	団員定数798人に改正
昭和	29年	4月	2代目消防団長に奥西三雄氏就任
昭和	31年	4月	3代目消防団長に藤本末吉氏就任 団員定数607人に改正
昭和	32年	4月	団員定数536人に改正
昭和	32年	5月	4代目消防団長に大崎新造氏就任
昭和	36年	4月	5代目消防団長に西村昭男氏就任 役場消防隊を設置 消防団の編成を5分団24部 消防ポンプ自動車1台、手引きガソリンポンプ4台、小型動力ポンプ20台
昭和	37年	4月	団員定数362人に改正
昭和	39年	4月	6代目消防団長に佐野重男氏就任
昭和	41年	5月	7代目消防団長に岡本義明氏就任
昭和	44年	12月	昭和44年度京都府消防協会長表彰（表彰旗）を田辺町消防団が受賞
昭和	45年	6月	8代目消防団長に竹村新三氏就任
昭和	45年	9月	京都府南部地域広域消防応援協定締結 京都府綴喜郡地域消防総合応援協定締結
昭和	47年	4月	5分団制（24部）団員定数337人に組織改正
昭和	47年	11月	小型動力ポンプ付積載車5台を購入し（西八、田辺、草内、南山東、水取）配置
昭和	48年	3月	9代目消防団長に岡本茂治氏就任 団員定数304人に改正
昭和	49年	4月	団員定数268人に改正
昭和	49年	8月	小型動力ポンプ付積載車1台を購入し（南山東）配置
昭和	49年	10月	第3回京都府消防操法大会（小型ポンプ操法の部）で田辺町消防団が優勝
昭和	49年	11月	第4回全国消防操法大会（小型ポンプ操法の部）に京都府代表で田辺町消防団出場
昭和	50年	2月	昭和50年度日本消防協会長表彰（表彰旗）を田辺町消防団が受賞
昭和	50年	8月	第3回京都府消防協会綴喜支部消防操法大会（小型ポンプ操法の部）で田辺町消防団が優勝
昭和	51年	3月	消防庁長官表彰（竿頭綬）を田辺町消防団が受賞
昭和	51年	4月	4部増設5分団制（28部）団員定数308人に組織改正
昭和	51年	5月	積載車1台を購入し（打田）配置

昭和	52年	3月	昭和51年度京都府知事表彰（表彰旗）を田辺町消防団が受賞
昭和	52年	9月	第4回京都府消防協会綴喜支部消防操法大会（小型ポンプ操法の部）で田辺町消防団が優勝
昭和	53年	4月	10代目消防団長に山地二三夫氏就任
昭和	54年	9月	第5回京都府消防協会綴喜支部消防操法大会（小型ポンプ操法の部）で田辺町消防団が優勝
昭和	54年	12月	積載車3台を購入し（薪、東住宅、天王）配置
昭和	56年	3月	消防庁長官表彰（表彰旗）を田辺町消防団が受賞
昭和	56年	9月	第6回京都府消防協会綴喜支部消防操法大会（小型ポンプ操法の部）で田辺町消防団が優勝
昭和	56年	10月	積載車2台を購入し（松井、西八）配置
昭和	57年	4月	11代目消防団長に芝 裕一氏就任
昭和	58年	2月	積載車2台を購入し（田辺、山本）配置
昭和	58年	9月	第7回京都府消防協会綴喜支部消防操法大会（小型ポンプ操法の部）で田辺町消防団が優勝
昭和	59年	4月	12代目消防団長に田邊邦彦氏就任
昭和	61年	4月	2部増設5分団制（30部）団員定数337人に組織改正
昭和	63年	4月	13代目消防団長に林 善嗣氏就任
平成	元年	10月	京都府知事表彰（特別表彰旗）を田辺町消防団が受賞。
平成	3年	11月	消防団発足40周年記念式典を実施
平成	6年	4月	14代目消防団長に西村 正氏就任
平成	6年	10月	積載車2台を購入し〔岡村、普賢寺〕配置
平成	8年	1月	積載車2台を購入し〔興戸、多々羅〕配置
平成	8年	3月	積載車3台を購入し〔松井ヶ丘、府営団地、江津〕配置
平成	8年	12月	積載車2台を購入し〔東林、高木〕配置
平成	9年	8月	小型動力ポンプ3台を購入し（江津、水取、多々羅）配置
平成	9年	12月	積載車2台を購入し（河原、南山西）配置 小型動力ポンプ2台を購入し〔東住宅、普賢寺〕配置
平成	10年	4月	15代目消防団長に柳田正廣氏就任
平成	10年	12月	積載車2台を購入し〔薪（更新分）健康村〕配置
平成	10年	12月	小型動力ポンプ1台を購入し〔東（更新分）〕配置
平成	11年	11月	積載車2台を購入し〔西八、水取（更新分）〕配置
平成	11年	12月	小型動力ポンプ2台を購入し〔高船、高木（更新分）〕配置
平成	12年	11月	小型動力ポンプ2台を購入し〔薪、新興戸（更新分）〕配置
平成	13年	1月	積載車2台を購入し〔東住宅、草内（更新分）〕配置
平成	13年	3月	消防団発足50周年記念式典を実施
平成	13年	8月	第16回京都府消防協会綴喜支部消防操法大会（小型ポンプ操法の部）で京田辺市消防団が優勝
平成	14年	2月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔松井、田辺（更新分）〕配置
平成	14年	8月	第17回京都府消防操法大会（小型ポンプ操法の部）で京田辺市消防団が優勝
平成	14年	10月	第18回全国消防操法大会（小型ポンプ操法の部）に京都府代表で京田辺市消防団出場

平成	14年	12月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔山本、打田（更新分）〕配置
平成	15年	10月	積載車1台を購入し〔新興戸〕に配置
平成	15年	12月	積載車2台を購入し〔大住ヶ丘、南山東（更新分）〕配置
平成	16年	4月	16代目消防団長に中川雅義氏就任
平成	17年	3月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔高船、飯岡（更新分）〕配置
平成	18年	1月	平成18年度京都府消防協会長表彰（表彰旗）を京田辺市消防団が受賞
平成	18年	3月	消防団発足55周年記念式典を実施 小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔宮ノ口、天王（更新分）〕配置
平成	19年	3月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔東、二又（更新分）〕配置
平成	20年	3月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔岡村・三野、普賢寺（更新分）〕配置
平成	20年	4月	17代目消防団長に吉村敏和氏就任
平成	21年	3月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔興戸、多々羅（更新分）〕配置
平成	22年	3月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔松井ヶ丘、府宮田辺団地（更新分）〕配置
平成	23年	3月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔東林、江津（更新分）〕配置
平成	23年	11月	消防団発足60周年記念式典を実施
平成	24年	3月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔河原、高木（更新分）〕配置
平成	24年	4月	18代目消防団長に岡嶋一晃氏就任
平成	25年	3月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔健康村・健康ヶ丘、南山西（更新分）〕配置
平成	26年	2月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔薪、水取（更新分）〕配置
平成	26年	11月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔西八、東住宅（更新分）〕配置
平成	28年	1月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔松井、草内（更新分）〕配置
平成	28年	4月	19代目消防団長に奥西泰男氏就任
平成	29年	3月	日本消防協会特別表彰「まとい」受章
平成	29年	4月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔田辺、山本（更新分）〕配置
平成	30年	1月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔新興戸、打田（更新分）〕配置
平成	31年	2月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔大住ヶ丘、南山東（更新分）〕配置
令和	2年	4月	20代目消防団長に坂本泰啓氏就任
令和	4年	2月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔飯岡、高船（更新分）〕配置
令和	6年	3月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔宮ノ口、天王（更新分）〕配置
令和	6年	4月	21代目消防団長に白石敏幸氏就任
令和	7年	3月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し〔東、二又（更新分）〕配置

# 消 防 団 の 組 織



# 消防団員の状況

## 1. 分団（部）別団員数

(令和7年4月1日現在)

階級別 分団部別		合 (人)計	小 計	団 長	副 団 長	分 団 長	(部長兼務) 副分団長	部 長	班 長	団 員
総 数		269	269	1	2	5	5	27	27	202
本 部		29	29	1	2	5		3	1	17
第1分団	第1部	67	14				1		1	12
	第2部		11					1	1	9
	第3部		17					1	1	15
	第4部		8					1	1	6
	第5部		6					1	1	4
	第6部		11					1	1	9
	第7部		0							
第2分団	第1部	37	11					1	1	9
	第2部		11					1	1	9
	第3部		10				1		1	8
	第4部		1					1		
	第5部		1					1		
	第6部		3					1	1	1
第3分団	第1部	25	9				1		1	7
	第2部		7					1	1	5
	第3部		2					1		1
	第4部		7					1	1	5
第4分団	第1部	60	8					1	1	6
	第2部		12				1		1	10
	第3部		10					1	1	8
	第4部		9					1	1	7
	第5部		10					1	1	8
	第6部		9					1	1	7
	第7部		2					1	1	
第5分団	第1部	51	11					1	1	9
	第2部		9					1	1	7
	第3部		5					1	1	3
	第4部		13				1		1	11
	第5部		10					1	1	8
	第6部		3					1	1	1

※副分団長は部長兼務

## ２．年齢別状況

(令和7年4月1日現在)

年齢別 階級別	合 計 (人)	18～20 歳	21～25 歳	26～30 歳	31～35 歳	36～40 歳	41～45 歳	46～50 歳	51～55 歳	56歳 以上	平均 年齢
合 計	269	5	16	15	21	51	53	63	33	12	42
団 長	1									1	
副 団 長	2								1	1	
分 団 長	5					1	2		1	1	
副分団長	5				1		1	3			
部 長	27			1		5	4	10	7		
班 長	27			3		10	6	5	3		
団 員	202	5	16	11	20	35	40	45	21	9	

※ 副分団長は部長兼務

## ３．勤続年数状況

(令和7年4月1日現在)

年数別 分団別	合 計 (人)	5 年 未 満	5 年以上 1 0 年未満	1 0 年以上 1 5 年未満	1 5 年以上 2 0 年未満	2 0 年以上 2 5 年未満	2 5 年以上 3 0 年未満	3 0 年 以 上
合 計	269	69	53	50	59	24	11	3
本 部	29	15	2	1	3	2	5	1
第 1 分団	67	15	11	13	17	8	1	2
第 2 分団	37	9	8	6	11	2	1	0
第 3 分団	25	7	8	5	5	0	0	0
第 4 分団	60	14	13	9	14	6	4	0
第 5 分団	51	9	11	16	9	6	0	0

#### 4. 職業別状況

(令和7年4月1日現在)

分団別 種 別	合 計 (人)	本 部	第 1 分団	第 2 分団	第 3 分団	第 4 分団	第 5 分団
合 計	269	29	67	37	25	60	51
農 業	9	1	2	1	2		3
建 設 業	27		10	2	2	9	4
製 造 業	60	4	14	9	5	14	14
電気・ガス ・水道業	4	1	3				
運輸・通信業	21		6	4	4	6	1
卸 売 小 売 飲 食 業	24	1	5	6	2	4	6
金融・保険業	4	1	1		1		1
不動産業	4		1	2			1
サービス業	52	8	13	6	6	9	10
公 務 員	20	2	4	1	2	7	4
そ の 他	44	11	8	6	1	11	7

#### 5. 出動状況

(令和6年中)

分団別 種 別	合 計 (回)	本 部	第 1 分団	第 2 分団	第 3 分団	第 4 分団	第 5 分団
火 災	6	2		2	2		
警 戒	96	12	18	24	15	17	10
訓 練	237	43	42	42	27	41	42
広報・指導	87	6	17	17	15	14	18
その他	419	73	75	70	74	55	72
計	845	136	152	155	133	127	142



# 消防団車両等配置状況

## 1. 積載車

(令和7年4月1日現在)

分団・部別		車 種	年 式	種別	車 番
第1分団	第1部	ダイハツハイゼット4WD	平成 27年	軽自	京都880 あ 2520
	第2部	ダイハツハイゼット4WD	平成 26年	軽自	京都880 あ 2208
	第3部	ダイハツハイゼット4WD	平成 20年	軽自	京都880 あ 675
	第4部	ダイハツハイゼット4WD	平成 24年	軽自	京都880 あ 1799
	第5部	ダイハツハイゼット4WD	平成 23年	軽自	京都880 あ 1394
	第6部	ダイハツハイゼット4WD	平成 22年	軽自	京都880 あ 1153
	第7部	ダイハツハイゼット4WD	平成 31年	軽自	京都880 あ 3244
第2分団	第1部	ダイハツハイゼット4WD	平成 28年	軽自	京都880 あ 2836
	第2部	ダイハツハイゼット4WD	平成 25年	軽自	京都880 あ 2019
	第3部	ダイハツハイゼット4WD	平成 21年	軽自	京都880 あ 922
	第4部	ダイハツハイゼット4WD	平成 24年	軽自	京都880 あ 1630
	第5部	ダイハツハイゼット4WD	平成 26年	軽自	京都880 あ 2206
	第6部	ダイハツハイゼット4WD	平成 22年	軽自	京都880 あ 1154
第3分団	第1部	ダイハツハイゼット4WD	平成 27年	軽自	京都880 あ 2522
	第2部	ダイハツハイゼット4WD	令和 4年	軽自	京都880 あ 3976
	第3部	ダイハツハイゼット4WD	令和 6年	軽自	京都880 あ 4663
	第4部	ダイハツハイゼット4WD	平成 29年	軽自	京都880 あ 3013
第4分団	第1部	ダイハツハイゼット4WD	平成 31年	軽自	京都880 あ 3245
	第2部	ダイハツハイゼット4WD	平成 23年	軽自	京都880 あ 1392
	第3部	ダイハツハイゼット4WD	平成 28年	軽自	京都880 あ 2837
	第4部	ダイハツハイゼット4WD	平成 24年	軽自	京都880 あ 1631
	第5部	ダイハツハイゼット4WD	令和 6年	軽自	京都880 あ 4662
	第6部	ダイハツハイゼット4WD	令和 5年	軽自	京都880 あ 4453
	第7部	ダイハツハイゼット4WD	平成 24年	軽自	京都880 あ 1800
第5分団	第1部	ダイハツハイゼット4WD	平成 29年	軽自	京都880 あ 3014
	第2部	ダイハツハイゼット4WD	令和 4年	軽自	京都880 あ 3977
	第3部	ダイハツハイゼット4WD	令和 5年	軽自	京都880 あ 4454
	第4部	ダイハツハイゼット4WD	平成 25年	軽自	京都880 あ 2020
	第5部	ダイハツハイゼット4WD	平成 20年	軽自	京都880 あ 676
	第6部	ダイハツハイゼット4WD	平成 21年	軽自	京都880 あ 923

## 2. 小型動力ポンプ

(令和7年4月1日現在)

分 団 ・ 部 別		年 式	名 称	型 式
第 1 分 団	第 1 部	平成27年	トーハツ	B3級
	第 2 部	平成26年	トーハツ	B3級
	第 3 部	平成19年	トーハツ	B3級
	第 4 部	平成24年	トーハツ	B3級
	第 5 部	平成22年	トーハツ	B3級
	第 6 部	平成21年	トーハツ	B3級
	第 7 部	平成31年	トーハツ	B3級
第 2 分 団	第 1 部	平成28年	トーハツ	B3級
	第 2 部	平成25年	トーハツ	B3級
	第 3 部	平成20年	トーハツ	B3級
	第 4 部	平成23年	トーハツ	B3級
	第 5 部	平成26年	トーハツ	B3級
	第 6 部	平成21年	トーハツ	B3級
第 3 分 団	第 1 部	平成27年	トーハツ	B3級
	第 2 部	令和 4年	トーハツ	B3級
	第 3 部	令和 6年	トーハツ	B2級
	第 4 部	平成29年	トーハツ	B3級
第 4 分 団	第 1 部	平成31年	トーハツ	B3級
	第 2 部	平成22年	トーハツ	B3級
	第 3 部	平成28年	トーハツ	B3級
	第 4 部	平成23年	トーハツ	B3級
	第 5 部	令和 6年	トーハツ	B2級
	第 6 部	令和 5年	トーハツ	C1級
	第 7 部	平成24年	トーハツ	B3級
第 5 分 団	第 1 部	平成29年	トーハツ	B3級
	第 2 部	令和 4年	トーハツ	B3級
	第 3 部	令和 5年	トーハツ	C1級
	第 4 部	平成25年	トーハツ	B3級
	第 5 部	平成19年	トーハツ	B3級
	第 6 部	平成20年	トーハツ	B3級



令和 7 年 9 月発行

## 京 田 辺 市 消 防 本 部

〒610-0331 京都府京田辺市田辺 7 8 番地  
TEL (0774) 63-1125  
FAX (0774) 65-1511  
URL <https://www.city.kyotanabe.lg.jp>